選擧革正方策案可決

正の實た響げる営め懐惠査胎の正の實た響げる営め懐惠査胎の

張學良氏の發言

 「天美特豊二十日特」観學以氏の
 「所文情報にが難じて記した。
 「「大美特豊二十日特」観學以氏の
 「所文情報に、 」
 「「大美特豊二十日特」観學以氏の
 「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」
 「「「「「」」」
 「「「「「」」」
 「「「「」」
 「「「「」」
 「「「「」」
 「「「「」」
 「「「「」」
 「「「「」」
 「「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「」」
 「「「」」
 「「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「「」」
 「「」」
 「「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」

 「「」」
 「「」

 「「」」
 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」 山西側に恩を與ふ

荷に関して幸島大連民政

依る

より外ない

辛島民政署長語る

法規

外文里歌歌子の後

特別列車も祝賀會も出鱈目

特別列車も祝賀會も出鱈目

人を喰った南京政府

一門部の大田田に調査しても思いて、東京政府の差

全川郡の政府は十一月十六日にはが続き、二十五名の大小代表が、十六日に際くべき観音はよかった。外突戦は二座までも理論にきない。

本川の神田田に満ましてじまった。外突戦は二座までも理論にきない。

本川に報答が、長江

「田岳の子は変形人だけの戦争をは、方の大学で表していまった。外突戦は二座までも理論にきない。

本川に在住する松米戦に横裾状を響るても見能らない

「西岳でする松米戦に横裾状を響るても見能らない。

止むを得め

接き最大を表示されてある。 一般により一層の自覚を促し 一般により一層の自覚を促し 一般には教育の動具をみた程である 一般には教育の動具をみた程である。 一般には教育することはからなの性物 が好らすることはなるのが。 な好らすることはなるのが。 な好らするのでは信じない。 を対しているのではなるのが。 ながらない。

蔣介石(南っても)と張學良(同志)

への一交騒

政孫文氏の石像

失業家族

運艦費減少に伴ふ工場縮小 政府に答印する筈である 平戦寺が製し近く總會に四節の上 ける聖上陛下に 作の各委員関に質疑機密あり様な

「果京廿一日要電前」幣原配に省根で地は二十一日午前九時「果京廿一日要電前」幣原配に省根を見舞び郷田塚士より首様の客「果京廿一日要電前」幣原配に省根で地は二十一日午前九時 首相の容體奏上 幣原首相代理拜謁

臨時的事業を選定

失業公債案來議會提出

各國の保有量決定

聯盟軍縮準備委員會 た一大センセーション

豫算制限方式を可決

官吏の身分保證と

司法警察官の設置

馬民政署長より田中市長宛登し 再選舉命令

共產黨策動

世ん罪げて繁華時代、遺憾の献と

つき買つさ

一十八日から開く 清濃々消部所衝の運輸車輛四線谷 を対した。ことに決定、二十九 を対した。ことに決定、二十九 を対した。ことに決定、二十九 を対した。ことに決定、二十九 を対した。 をがした。 各所長會議 いはこそ 困りものだ。 行動の題 と共に置きないり 党都マへ米谷の職部を襲て四戦

鐵道部所管

敗然無勢上の怪物に

滋養强壯劑

集る、整代の資極事だ。

世二日(北西の風) 参時々晴れ

我を少る日本

一般虛弱者、心臟機能衰弱者、結核

學良君の今昔つ

の良策だ」さ説いた。瀧公佐のの良策だ」さ説いた。瀧公佐の 要称を帯びて厳い方の間に往来が常時、関東軍司会部の

新者達し

あるか畑る曲しない。それだけ あるか畑る曲しない。それだけ に微華が、黎明、海溝を送し三 に微華が、黎明、海溝を送し三 に微華が、黎明、海溝を送し三 を見れば、東隅の発揮しての機動。 をまでの保護を焼けての機動。 をまでの保護を焼けての機動。 をまでの保護を焼けての機動。 をまでの保護を焼けての機動。

とり献した単級表は、並に放て を連にご解中の位標を置すさ、 をつたのであった。其後の後は なったのであった。其後の後は をか者さして最前職に過職した をして、項に日本の後級を牽裝 をして、項に日本の後級を牽裝 をして、項に日本の後級を牽裝 をして、項に日本の後級を牽裝

家した単良者は、歩に於て

一年、野玉山上に外玉長官を肺るて破職した。騒楽論者さしての長官は、野の反逆を稼り僧ん
っ長官は、野の反逆を稼り僧ん
でるたまりに同情の齢を襲へた

其後の彼、今日の彼はどうか。 なさして、こよなき交脱であら 総さして、こよなき交脱であら

運賃低減交渉

東京二十一日餐電通」 随い者は 駆の艇和策さして工業組合に黙揄 すべき酸素組合法を党衆甲で励る てく来議會に提続のが批であるさ

張宗昌氏歸國

商業組合法

來議會に提案か

さ修正したが承服せず土井委員よ

相を訪問 原總務安達

鐵道部次長

高紀毅氏を任命

「一個の人々の異常なる住意な意

二百萬石以上の買入れかなす 一百萬石以上の買入れかなす 未穀業給特別會計資金の範囲に

市參事會員再選舉

質の面目丸潰れ

運轉開始

あめりか丸

行政院の大政選を得かこさに内定 行政院の大政選を得かこさに内定 してゐるが昨戦の整選氏が軍政部 長に鞭せられてゐる州東北突頭委 減野水長に任命される智で高氏の 後低さして私光減氏が軍政部 長の職に就くだらうさ課期されて

別項の知く可決して

市制施行規則によらざるものご

ける市長に宛て通達

勞農露國内にて

宗教精神の勃興 歴迫は却つて勃興を促す リ聖公會支部監督談

世界的に信仰を増して行く世界的に信仰を増して行く

勝職、九千萬の賢は職つてほくも 萬石にするかで米鞍委貮會の議論 大觀小觀

さな喫茶店 エライト 日本コロムピア警督器株式會社 - 詳細は何卒月糾にて

オス海唱 で (シューマン) おすらひの歌 (シューマン) メス海唱 ラ印書の列奏 口心 ボール・ピル Wゲーン(ボッペー) ・ H・ ス ピア アノる姿 管絃樂器

己公元 Columbi

7-11

マノン・レスコー(デッチュラ)

オルプル作 フェオー製

リオ・ 舞師曲 四 → 機作無第一〇一編→ 作曲者指揮

ピアノ協變曲 エルンスト・アンセル・サッエ・デザイース(世間製曲・イ短調 完全<u>大</u>

洋樂十二月新譜 (十一月二十日前費)

金の為瀆職したといはれては 7 る聲を絞 將胸中を述

御奉公の名譽が汚される 遺された歌小屋は今日焼却した 賜木大連着の

の地位に鑑みてそれ等の人々さー々論事するを好まのので默しての地位に鑑みてそれ等の人々さー々論事するを好まのので默して思くよく歌み、またよく考へてゐるが、それ等は不實の點が尠くない、私は自分本件に就て私は懷事の取調べ豫審調曹並びに常法廷に於ける各被告の侯逃、瞪人の申立て等をよく れねばならぬのか思へば私は無念骨髓に徹してゐます。全く汚されて仕舞ふわけで何のため斯る訴へに此の身が引きの職を瀆した等と云はれては山梨今日までの御奉及の名譽も なる勢を終つて述べ、満年息を存んで聞き入る、 次で設人川崎謙三の取職であり版< 熊谷懐事

日入港のあめりか鬼で驚迷するが大連戦社造骸用さして戦木が廿二

けふ水上署で

日發電通】ドイツの大飛行転ド

DO·X號

衝突の英汽船

スペイン到着

告訴の手筈

廣發丸の海事 判補佐人

中村博士らける離連

御機嫌麗しく

聖上、宮城に還幸

けふ、東京驛頭にて

文武顯官奉迎裡に

東京廿一日景電通型去る十二日東京海電影園山縣下に於ける陸東京廿一日景電通型去る十二日東京海電影園山東下には日日標学野港海田東京海道部、昨夜は波震き温州縣を布城第二十一日午後一時代海沿海沿地區市に大海大海湾を海沿地域で、昨夜に波震・温州縣を布城第二十一日午後一時代海沿海沿地區市の東京海域が上間市の東京海域が大海地域である。

中野辯護士の

感情による

との噂

關東州籍護士會が渡久山氏派遣

眞相を調査させる

警視廳、第二の大本教事件ごして

明道會徹底的に解剖

門員の爭奪

西部大連公議會ご

\表面化

商民聯合會の間に

たのででは、他つて資金の理出に 地が節舎戦に歌し会歌舎館では同 な回答が最し、夏に聴合舎では同

『東京二十一日餐電道』歌迎殿では純人交通の螺栓者を織する蘇彬婦人を中心さら陽景像士児一太氏を被し多数の玉串科や緊姦を擦き上げてるたもので、野砂殿では第二の大本教事性さして総底を擦された事かり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の感染を察るされた事がり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の感染を察るされた事がり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の感染を察るされた事がり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の感染を察るされた事がり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の感染を察るされた事がり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の感染を察るされた事がり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の感染を察された事がり、その後岸懐士に見出され明道會を懸げて八念思歌戦の必然で駆け来願保着を変しる。 開着新宝のもさに総級を軽ねつ、 まる十月十七日龍くその養會式を 野げた西部大連公議會は養會成立 大きな十月十七日龍くその養會式を は者によって所傷関係さして既に するか否かについて阿書間におい て根数突然ありたるも、服者會見 なななながについて阿書間におい

森林遁 討伐は 層困難

女子供の縊死體 百四十を發見す

凄惨、 巖窟附近に於て

の概報せるさころに使れば職部肿一絡死性あり歌戦を極めてると、然

經験により軍部觀測

間の感情問題その他

經濟的 穆紫蘭像學於標

夕張炭坑爆發

死者十名を出す

採炭作業に支障なし

スケートリ

ギュアーオンリ

ーのスケ

機動者の選びく十五、六個 せる兇素は今後時々遊説を試み又 するであらうさいはれてゐる後の斑点をは鍛した。 ゐる、佛心上活衆谷磁林中: 遊入 は長脚に瞠るさ無に一层胚離を感せの斑点を行び完全に酸の 臓は至臓であらうさ軍部では見て の鞭蜒より見て明かで今後の討び、十日費電通 安選大隊は十 が昨日の總近戦で今後集脱船の谷 三々伝や遊走を縫てるこさは御家

意、一つ監督に編入せる者に動 を徴収な行はんさせるに動も企職 の残収な行はんさせるに動も企職 のではない。 たものであるが、最近に至り酸氏で、公議會は前記酸氏職へ會に對か、公議會は前記酸氏職へ會に對かなした。 たものであるが、最近に

者しそれ以前において倉殿の「監督に織人せる者に繋び

支操ふ義務ある場合は

その一部分は奥地に行く答案しても五数の歴大を打ち掛け際しても五数の歴大を打ち掛け

無数が内地に重大な影響を興へて『山海開終電廿一日聲』北支那の 山海關でも 天津測候所

が大連に入港したら根常 廿三日ごろ上海な出戦するそうだ ば発年二月だれ、エネマース號は

る手管になってゐる。 30

流行と實用の粹を聚めて

絕體!!! 好評!!!

第二回新荷着

では、 はないに自分なぞは名称だけで海波 関係があるから酸しい、エネマース競のがでも降くさころによるさ

長春入船町に 二人組のピストル强盗 お客一名を射殺逃走

4.

市滿道具

乘組員は無事

が流滅され廿一日午前七

下腸の粃蜒に縦した 時五十分窓に死去、同時に三螺縦 時五十分窓に死去、同時に三螺縦 今曉遂に逝

日称代際になってゐた伊豆地がの【煮海二十一日發電池】この雨三

リンクは大連最極のみさしてフィ

服

で国自ヨリ体六日マテ

レクペアイスケーティング等に 酸き リンクは本年度は見 ※ 整調整置き れたトラ微素 こつてるた二百メー が日来す市後所に於て二百メ リー般に

キューニー

マヨネーズ

探檢旅行の快學

大陸横斷

大規模なトー

キー隊を件ひ

佛一流學者が參

獨立守備隊 新入兵の魁 二十九日に字品丸で着連

滿期兵は卅日に離連

御來客にも

毎日の御食師にも

2

型のアジア大陸構能

ンスの一

る計画であ

では、 なび二部の音 をなび二部の音

理科西蘭佛 型カスエ 二

十一月廿一日 柳戚總代昭和五年 日本 中四 四 郎雄忠 中 四 郎雄忠

3

大賣出して御座ゐます。市價の三割安!! 御買物は是非 見切物大賣出ししました。十一月中旬上京仕入の新柄見切品と共に絕體的に 安い良い品の在庫品の入れ替へを はかるため全商品に 渡り 大英脈な大見切りを斷行致 校パレス無地三丈 十三圓八十 特別提供品

和 網 二 丈 物 一個五十錢。

和 網 二 丈 物 一個五十錢。

在 獨 二 丈 物 一個五十錢。

和 二 丈 物 一個五十錢。 面より 利二重友仙肩裡二四五十級 每日五十切限的 每日五十切限的 每日五十切限的 一個五十五錢

あま アンAB含有の器品等米のま酒 二葉町四ノ四四 二葉町四ノ四四

和洋高等輕便御料理 更生の日活食堂(廿二日開業)

ら何卒御利用下さい 司厨部員

經營者

へ發覚する縁定で

狐ショー

ル、外套類等豊富取揃へ大山通一水

ie

電話三六五六番

れる、要する 「長春特電廿一日展】廿日午後五 ・ 大の勝和さなつたが一日展】廿日午後五 ・ 大の勝和さなつたが十四點三で明 を機能に終したさころかは入歌にも勝れていったが十四點三で明 を機能に終したさころかは入歌をがなる。 を機能に終したさころかは入歌をがなる。 を機能に終したさころかは入歌をがなる。 を機能に終したさころかは入歌をがなる。 を機能に終したさころかは入歌をがなる。 を機能に終したさころかは入歌をがなる。 なっ、は入か管道いうへ吉枕管板。 なっ、は入か管道いうへ吉枕管板。 かって神童と稱本、立剣の影の形。 一十里眼本る ・ 大の勝和さなつたが十四點三で明 がた信い極力を人機造に築めたが塗 を構えるが、 本信い極力を人機造に築めたが塗 を信い極力を人機造に築めたが塗 を信い極力を入機造に変めたが塗 を信い極力を入機造に変めたが塗 になる。 本信の極力を入機造に変めたが塗 を信い極力を入機造に変めたが塗 になる。 本信の概えては悪かる。 では悪かったが十四點三で明 が、一十里眼本る を構造され 本になった。 本に

英船がぶつかつ

(税の第一回の影響で海承畑の通り」ではないか、あれば敷が総織して「排するに至らなかつたもので昨年も一座被達しこちらに「事はないそれでは物機からぶつか。情以極力能人物室にもので昨年も一座被達しこちらに「事はないそれでは物機からぶつか。情以極力能人物室に一種機能が概の体標によりを達した。

「程本学し、そんな不今現な」は対して、経験に接した長春豊で んな不合理な

乾坤丸

浪速町三丁目

羅城院で継所有第八城地域に二番無城院で継所有第八城地域となると他勢

又復活動を開始

連鎖街に氷滑場

運動會が

鏡ケ池のリンクは

一般に無料解放する

地震は二十日午後六時五十分より地震は二十日午後六時五十分よりに飛び出て罹の殲滅はないだ平然に飛び出て罹の殲滅はないが不安は著るしく場よつてゐる

がない。キン

ニメルを

無料を放するこさりなった

東京計一日養電通】明立ラグピーへ電三八〇五番へ中込まれたい 野立教ラ式戦 中であるが同國人にとて未加入者中であるが同國人にとて未加入者中であるが同國人にとて未加入者中であるが同國人にとて未加入者の非確の作成

新選は大連スケートを

靈威透熱療法

店員を御用聞に何はせます

兩便所や公衆電話の設備があ



(120)

滿日

かぐつき引き締め、

火の粉を搬ひのけたがら

思のやうな赤い顔を、微に経げ

へられたパード少秋の南極接線が た科典修器等さ人間修興味に避れ た名き、今日まで交撃によって傷 である、今日まで交撃によって傷

D

東京風菓子謹製

昆

蝕める果實

◆奪曲「經輯の秋」等宮珠大險校、 同高本夫人、尺八替井一意 ◆支那嶋「別答」場于文艮、師付王 振泉

○謝恩割引優待週間廿日より公開

ンの興味は大迷壁にはど

和入廿口、辛口

部屋モスリン店の大安領リニ 部の近來にない大安領を断行 記をサン店の大安領リニ

つた破格の大寶出しかなす。結人子供服の庫賣・ラグ

座

一学 世帯道具一切を

大 連 JQAK 十一月廿二日午後七時 ・ 一月廿二日午後七時 ・ 一月廿二日午後七時 ・ 一月廿二日午後七時 ・ 一月十二日午後七時 ・ 一月十二日午後七時 ・ 一月十二日午後七時 ・ 一月十二日午後七時

市川 龍男。歌川絹枝共

小倉厚司

山林祥祈

9



用質

此頃

お酒は忠勇ばか

10-14/4

のりしょよろ 三拍子揃った

後 大時 立 一 日 封 切

ウか

のル黒

温

的驚異に

廿一日から大日活に上映の

少將南極探險

て大田間は完成されるのであるが、荒骸と戦慄を聞えしめる。斯く

今夜から崎

滿日講堂で試演會開催

力

浪速町

H

きゃ

10

力

各國

浪速デバー

ナショナルバ

人迷はず発も角も一度御實見下さい實地に施し其の醫治効果に驚嘆されるのである要なる器械をも發明完成されたる世界的一大發明要なる器械をも發明完成されたる世界的一大發明要なる器械をも發明完成されたる世界的一大發明

发 無 痕 性

平灸。發

溫熱瞬間療法

十銭券本券御持金の方に展りの四日間限り

ついで行った。

が進なく続く極地の飛行に贈りな ではなく できれる。 厳漢たる 水原

御方は無料にて治療致すべくに付御遠慮なく源に應ず但し出張治療は車代申受く

停留所より上る

午後一時より午後一時迄

發育不良、は同神經痛、カッ

歯痛等は直ぐ止る 特に胃ケイレン、子宮病ケ尽、糠尿病、其他内科一般 特に胃ケイレン、子宮病ケリ、睪丸炎、中耳炎、内耳灸、腎臓病、神經衰弱、小兒のカツケ、胃腸病、リン病、百日咳、婦人病、ロイマチス、カツケ、胃腸病、リン病、百日咳、婦人病、ロイマチス、

土蔵屋根上へ、下りる

哈市の

キネマ

音樂

イするにファンの不満がある。生 るゝ必要もなさゝうである、が概 るゝ必要もなさゝうである、が概

で歌響されます。一、二年前のこれ歌奏會はアトランテック館が立紙の巨人モギー・ 二年前のこ

では要数というりました。 変は要数というりました。

サーキイでは全然形像で成があり。 をであるやうにも思されます。は をであるやうにも思されます。は をであるやうにも思されます。は をであるやうにも思されます。は をであるやうにも思されます。は をであるやうにも思されます。は をであるやうにも思されます。は をであるでうにも思されます。は ませう。こんな監から考察しても に及ぼす緊螂に個めて優少なもの とは何人と雌も肯定する感であり ませう。こんな監から考察しても とは他人と雌も肯定する感であり はどう。こんな監から考察しても にといる。 にとい。 にといる。 にといる。 にといる。 にといる。 にといる。 にといる。 にといる。 にといる。 にとい。



















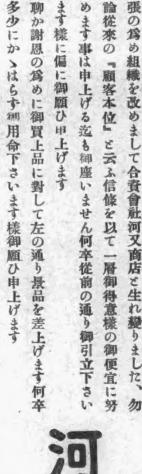
班市楓町增屋事 中村景 太郎

本各地名産

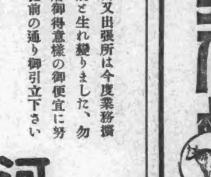
若

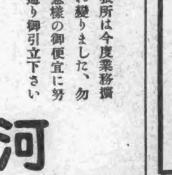
多少にかゝはらず細用命下さいます様御願ひ申上げます 樽一丁御買上毎に特製割烹着着 一丁御買上每に特製割烹着

聊か謝恩の爲めに御買上品に對して左の通り景品を差上げます何卒 ます様に偏に御願ひ甲上げます









泗

一升壜詰一本御買上毎に特製炊事前掛 一升場語一本御買上毎に特製炊料前掛 一升場詰一本御買上毎に【特製モノサン一本

一升邊詰一本御買上每に(特數科子文化一本一升邊詰一本御買上每に(特數科子文化一本

話

四四九三〇番

社査 大

河 市信

濃

大連市沙河口霞町

電話 九五〇八番

期

間

十一月廿五日迄

知日本灸專門療院

んだ頭の軽い朝

ン、前

化粧

0

スに

着骨組合に適用せねば、

効果薄の議論擡頭

石炭聯合會

報告、協談

小賣市場の物質 低落振り著しい

前月に比し五分方

殊に目立つのは穀價の下落

する はがあったが、廿一日東京にて高炭酸素配合食物が突然底部を設定。 では、近日 イン はがあったが、廿一日の理事會に入び、一般へて一環した安心、一世一日の理事會に入び、一世一日の最後の意見が纏められる響で、後って日下上京中の高級既然が、一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。一世一日の理事をした。

過去現在及將來

に我り、他つてこの種の恐慌は年 野の上に立てる影響解釈政所釈迦 での上に立てる影響解釈政所釈迦 は概本原因を私有財産難さ自由語

五百種・九二〇 九〇〇











帝國観行は本日公室館

用洋向けの

東部さ見られるに至った、総一格 東部さ見られるに至った、総一格 東部は北てぬるが、今年は紹展五 東部に止まり、黙殿田順會契 であること五千羅

箱位るか

職家を示せば穀類一であらうさいはれてある

出機六百五十程に比ぶれば非常のが南洋で転型されないのは、不のが南洋で転型されないのは、不のが南洋で転型されないのは、不

日鮮滿直通で

梅田、奉天間の輸送時間も 出來るだけ短縮する

◆:本年 財産 はいる 満洲大豆の 出郷り 温敷り に 横動せられる 満洲大豆の 出郷り 温敷り に 横動せられる か に 横動せられる か に 横動せられる か

麻袋變らず

綿糸近物高

株保合

上、海子高 法目 性内 は を 『上海二十一日 景』 支那の對米 「 「 上海二十一日 景』 支那の對米 「 上海二十一日 景』 大部の對米 「 上海二十一日 景』 大部の對米 「 上海二十一日 景』 「 上海一日 上海 「 上海二十一日 景』 「 上海一日 上海 「 上海一日 上海 」 「 上海 二一 神 展限

五四三二一十十

商品家









■喜屬荷扱所(天連市山縣運)

● 基際高維行第二張者为土田二日 ● 基際高維行第二張者为土田二日 ・ 本語行 謝 職 丸 土 月 六日 ・ 本語行 謝 職 丸 土 月 六日 ・ 本語行 第 職 丸 土 月 六日 世日清汽船鼓出帆 時間, 1月 日 年前九時出帆 華山東土月 日 年前九時出帆 華山東土月 日 大阪商船城武大連支店

□日本郵船出帆

がらて了つた▲之に難し響方は走 ・一般におに安修覧であるが ・一般におに安修覧を取るであるが けに構場の板原鑑く一でまか出な けに構場の板原鑑く一でまか出な だ根場は一変概見れないこさにな りに見送りの残であるが年末の切りに見送りの残であるが年末の切りに見送りの残であるが年末の切り

標金高に 鈔票弱保合

林二十七回二十錢

東原際

沿線各地の御用命は 最寄店所へ

一貫外五十五銭

何程でも配達致します。 スリ、味噌(素音巻)

景氣循環論

經濟變動の種類

恐慌の樂悲兩說

官商買占め開始

更に糧棧の副業の

停止を秘に計畫す

天阪屋號書店

電話(依照及長時間 九一五三番

東西塔二二〇三番

店支連大社會名合納嘉

この問題ほ之た拳天政権の裁一ケ年の今日なほ未解決のままに放った知識するところた以てすれ さにかく臨支間の紛爭善後が一さしても看利ではあるまいか。 せいかい がい 一気が関 に一任することが結構。支那側

白い現象といふこさは出來のので 生するが如きは決して國際上、面 配され支那金橋代表が熊都に立往

有田梨緑、水谷市が中の名職長及

朝鮮自治制

經過益々良好で午後も香茶、支一種過益々良好で午後も香茶、支

りみ展開雕その他について要談し町田農樹の訪問を受け終十分に取

ふの閣議で決定

豆油の積込みに

年記念式

漢籍 「獨逸に於ける電氣事業の雑観」

近~寺兒溝で試驗

は合同えて廿二日午前八時より常盤水學校審堂において、合言容報

大連常盤、大廣場兩青年訓練所で

大連特察署長事務取扱を命ず大原、初枝

豆油の積込み

來月上旬迄二着手

文相が責任を以て

一般學制の改革も追つて實現

きの人の定例閣議

高安縣城を

する縁定である(奉天電話) 町田駐職大使は廿三日來郷、二祖

駐露大使

濱口首相の

經過益々良し

共匪軍襲擊

虐殺、掠奪を擅にす

一部案を諮問

共産黨の陰謀か

滬
審線で
列
車
顛
覆

乘客十數名負

病の喘息再發し除大よ

後任大連署長の人選

はやくも下

馬評に

呼び聲高い石井長春警察署長

この機に大異動斷行か

据き治療中であるが

愈々政府の認可も得 **上費大體二百餘萬圓**

の作を決定した

幣原首相代理

奏 上 首相の容體

ト震口管根の窓管につき継続奏上 が一で参内、天皇陛下に来略傾信の中に参内、天皇陛下に来略傾信の中に参内、天皇陛下に来略傾信の中に参い、天皇陛下に来略傾信の中に参り、天皇陛下に来のを明める。

三時の容體

午後三時の容骸左の如し

東京特電廿一日藝 | 保護等型 | でつきほど二郎二分派(前年に出 につきほど二郎二分派(前年に出 し)に限定せる旨報告とた

法保(提及六二二〇六二三〇六三三〇十里 由來高 四十里 曹涵大豆 出來不申 由來高 一九二〇 一八九〇 出來高 一千二百箱 黑架 出來不申 也 米 出來高 一千二百箱

東京特電廿一日發』中谷智務局 中谷警務局長 ゆふべ離京 おいゴルファーである。 をはこれで三座目で最初の夫は一 カー八年に死んだ映画監督ジョン エリンス、次がエール大學の融歌 手だった「レフティ」フリン▲ 年の後自和の矢が立つたのが昨年で称一 のある。

後場5 ・一般リを示し當市も関駁下ち張保 ・一般リを示し當市も関駁下ち張保 ・一般リカート 内地株デリ高 當市も强保合 况(井|田)

故尾崎署長

【漢月二十一日養電通】共匪の大 ひつゝありさの公電雷地に変験域を整轄し大郎総大規能を指している。 数軍は置に路跡を開始した。

【東京二十一日登電通】二十一日 年前十時間口首根の容鑑は 静温三十六度八、腰搏八十二、 呼吸十六 にして郷渦段塔、郭來食販増進し こて郷渦段塔、郭來食販増進し

朝鮮總督府でも

欧陽のスープス十五、路路のスープス十五、路

煙草元賣捌廢止

八百七十萬圓を捻出

上海同文書院の

中東驛積込手

常安寺で執

數料引下

を 執行されることとなつた 学に於て大津署々郷を以て盛大に 学に於て大津署々郷を以て盛大に は世

日支學生ストライキ

支給品制度の改革を要求して

東京同文會と聯絡

100100

本1000

● 大変(所でなる) 大変(所でなる) *** 新新 *** 新 *** 新 ***

日本高(銀製金 三萬二千山 田本高(銀製金 三萬二千山 田本高(銀製金 三萬二千山 田本高(銀製金 三萬二千山

そのがは謎にはよく残らないの

中村一國際都市さしての大連や被 関際都市さして製造してゐるの はいる/ な神由があらうさ思

國際的都市の

称部セより、悪産明年度回戯画覧」と解説したので、同談では午前十一日下楽蔵、樗嘻和寺、源田跡、周東殿では廿一日上京中の西山財一課館及び本年度同教入滅補充に関一時第一總接臵に三瀬内務局是

最近觀た滿蒙

トルでも遠つて外側人でも支那 人でも来て上陸もし、遊ぶこさ 人でも来て上陸もし、遊ぶこさ

を 反抗も、 静脉もなく、 齢極いが現在に続てこれさいふ杵格

やうなこせにもたらざ でこれで中座をさせて頂きますた、関東臓は大連に逃 ユラクリして磨れいが食社のが数十萬州を使ふさいふ 後藤『非然に隠が頭的いのでおだ

いのか、これが私の第一の縁続けれども候談これからく共戦大

《東京廿一日發館通》鈴木書記官

ラル・ストライキな就 ぶのである、国に単生は覚脱部會 日正午を馴む日本學生 答を得るまで捜索を受けないさい は極度に悪化してゐる 日正午を馴む日本學生 改革の三ケ條を提出も學院職の國 交會さも歌 交渉を執るなど事態

理論と實際と

があるやうに理論させては認めがあるやうに理論ではいが日本の組織を概念が続一覧に関めて置かねされた。

旅順

離在京名士座談會

六日夜東京會館に於てし

明年度關東廳豫算

節減とのうつは不可能

西山財務部長の請訓によって

原京城二十一日養電通 駅鉄線管 め
和六年七月一日から現在の一概さして昭
和六年七月一日から現在の一概さして昭
東京する
東京では「東公野(の一概さして昭
東京する
東京する
東京する
東京でする
東京でするでする
東京でする
東京でする
東京でする
東京でするでする
東京でするでする
東京でするでするでするでする

きのム臨時豫算會議

をうだらうが――決して司法者 い、全く起一個人の勝手な意見ではない、全く起一個人の勝手な意見ではない。全く起一個人の勝手な意見 を動い、ないが實際間壁でして、明歌に撃敗の人間を撃める を知れないが實際問題でして、明歌に撃敗の人間を撃める を知れないが實際問題でして、明歌に撃敗のる。 でういふ関係で、蛇は紫礁で、でういふ関係で、蛇がわって、あなたは御主人とでがわれば蛇原

の本社を

大き一種性人の意見を示へば開東 大き一種性人の意見を示へば開東 地の中にホテルのやうな所に関 地の中にホテルのやうな所に関 地の中にホテルのやうな所に関 地の中にホテルのやうな所に関 地の中にホテルのやうな所に関 地の市民さしても戦分を 連の市民さしても戦分を 地の市民さしても戦力を が加えてきがさ思ふ、叉大 連に根をすべきがと思ふ、叉大 中村「国職した話ですが開東職を 意識から大連に移転しては…… さ云ふ説を膨々降くがこれに對 関東脈の移轉 てこれな

音「さうすると滋味があれるが とれはまめ大の虫を助けるため に小の虫を物性にする、変疑は に小の虫を物性にする、変疑は に小の虫を物性にする、変疑は に小の虫を物性にする、変疑は できるが、これなが、歌ない。 地さし者しくは歌歌・思さしむ。 かな味はう事の音楽る都市にす を見て影影響の問題は含さんの本意見を何ひたい な見を何ひたい。 なは私の立 一世美術の問題に指さんの本 地でやつて下さい、私は私の並 あこさだけ申上げて配く、虚で あこさだけ申上げて配く、虚で をすさして、一性何虚へ持つてる を対って行けばい」と思ふ 中村「経帯型といふやうな虚で 動意見をおきかせ下さい。 動意見をおきかせ下さい。 動意見をおきかせ下さい。 動意見をおきかせ下さい。

数は十八日午後三時代東京支社に、東京特置廿一日韓』(此行済織橋

参事會員再選の

仙石滿鐵總裁

金 年後四時より左記に使り撫頭所襲 年後四時より左記に使り撫頭所襲 た 一般の寒臓を脱型するさ、
一般の寒酸を脱型するさ、
一般の寒酸を脱型するさ、
一般の寒酸を脱型するさ、
一般の寒酸を脱型するさ、
一般の寒酸を脱型するさ、
一般の寒なれて
一般の寒なれて
一般の寒なれて
一般の寒なれて
一般の寒なれて
一般の寒なれて
一般の寒がかき
一般の寒がかき
一般の寒がかき
一般の寒がかき
一般の寒がかき
一般の寒がかき
一般の寒がから
一般のいら
一般のいら

町田農相で要談

矢田部公使

電氣に關する講演

長尾 7起は張代歌氏が生きてるが、何か、何かならではないか、南か、何かなかが、何かなかが、何かなかが、何かなかが、何かなかが、何かなかが、何かなからのないが、神かが、何かながでないが、まっだなが、それば最下の魅力は天下を続することは不必要にして次方のがかあったが高いてゐることは不必要ではないか、市かいと引かけてみた事があったが高いの個人性なったが高端の個人性なったが高端の個人性ないか、そこではないからないが、そこではないからないが、まってはないか、そこではないか、そこではないか、そこではないか、そこではないか、そこではないか、そこではないか、そこではないからないが、そこではないからないが、そこではないからないがありますがありますがあった。

市製事を配の平敷製を振製する後 一今の威威神の絵像ない段響である一件五日ころ市會を搭載し程 報報戦り中である事項明らたので製造・総であったが、市会験戦中駆井氏 は被行中であり、また給水氏は概 會延期か 當初の豫定變更せん

及び母素を であるかさいふさ既なる人の血されて であるかさいふさ既なる人の血管内に移し入れる であるが である、 静範の脱地については、 であるが一般から認められてゐる。 から である、 であるが一般から認められてゐる。 なる 医神臓さなるこさ、 赤血球吸速さんである。 から ない から ない

一般でも十分強力はあるさされて 一般を振を振くこれをいのである。

此の解的療法さいふのは能能に

をはくないのである、先づ輪鳴な人でなければな 総する人が態度な人でなければな ちないここである。次は総配者と 受陥者この配接型が全く同一であればならないここで、若美郷種のたちのでなければな かっぱならないここで、若美郷種のでなければな



%、▼18は七五・○%、▼14

世の新成が顔る信用の優けない。 ものださいふからかなりに頼りない。 はのがであった品域に即分で勝ってある。 であった品域に即分で勝手に は五八・三%、风のは三七・五% になる脚です。最も普通の金性で 五分の銀鰤を混ぜた合金でありまで

行ばなりません。

で、一年か一年代もプラドげてる あっちらに、他の戦力値が全性を失い をうちに、他の戦力値が全性を失い。

ち、繋くべくまた飲むべき飲乳酸 のた整晶が質られた事能もあるか のた整晶が質られた事能もあるか

して日がた事も 代りに銀鎖を多

歌では様常の戦闘を繋げてや、 ・一等国に至るまで特になって ・一等国に至るまで特になって ・一等国に至るまで特になって ・一等国に至るまで特にの金性に ・一等国に至るまで特にの金性に ・一等国に至るまで特にの金性に

を性を呼吸化して繋神を飼る不 をでは食性を呼吸化して繋神を飼る不 をには食性を軟質に知るここが はでなってあるが、更に不正職人 に即なれるというであるが、更に不正職人 に用るて、整説の目がを検して繋神を付った。

誤魔化され易い

金製品

話

刻印が頗る信用が置けない

その中で十八金のものが八〇%以 家園種になるのも無地からねこさ だれならば、誰でも知つてゐるやう たが自欢るやうに、さう職職に之れならば、誰でも知つてゐるやう た知るこさが自欢ません。そこが 徳金郡は区22にあつては九一・ す。

することはかなり胚臓な問題です ◆ 常の網盤に乗くふ会縁総で除す 概集さいふのに 黙駕さし言ひ徹

した数された に対する に対する には対する にはがある。 にははいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはい。 には、

明制度を質施し置く

てしたが数で押してあってるます。即ち合格

一户党

日の起」の

科兒小

院醫原相

発穀商

摩

洋

大御市用

おいしい

お米の

全の快走艇のであるが普通のであるが普通のであるアントン、ヘイネン氏が趣識したものでかさなるというではなど、 カー・ 大学 のであるが普通のであるができなる。これはセッペリン教授を受けないとあってくなる。これはセッペリン教授を受けるアントン、ヘイネン氏が趣識したものでかさなる。 アメリカのコット であるが普通の アメリカのコット 特

12 してるるのです。場

理料 無の東の影響は支那森 ・ ので其の談話な味は ・ ので其の談話ない。 ・ のでする。 ・ のでする。 ・ で流へ放を書いて見 ・ のでする。 ・ のでする。 ・ でが、 ・ で流へ放を書いて見 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ では、 ・ でなる。 ・ でなな。 ・ でなる。 ・ でなな。 ・ でなな。 ・ でなな。 ・ でなな。 ・ でなな。 ・ でなな。 ・ でなな。

全の場合に避い戦後を必要以上使います。またな意に不正れ戦かうさます。また故意に不正れ戦かうさます。また故意に不正れ戦からさまったがであります来に、大戦りを生する場合もあります来に、かだりの出来とつた数説の金性によが起る機合が極めて利いさ云っては、からる場合が起る機合が極めて利いさ云って、

その金性について間違 れは一つ一つ戦略

病のパロメーターとなる 微妙な舌の現象 舌の變化で 病の種類がわかる から、若し輪郎の必要に強られた場がら、若し輪郎の必要に強られた場かを要するのであるかがして手腕を要するのであるかがないことは時になられた場がないことは時になられた場がない。 人の極端は感でもも一窓するもの 教能な関係を持つ執続によってか 学校の全型後に就で聞べてみまし ・ かつて対部省の解析駅で取好 べた血液型を脱密に調査して指は 婦人は一生涯に ▼質問はすべて場画のこと ▼何事によらず御相談に確じます 1 野い東田他の歌嬢した の時には舌苔はあまり厚く覆ひまの時には舌苔はあまり厚く覆ひませんが舌の表面が素端色になってせんが舌の表面が素端色になって

2000

時の無論さしては滿州版幹、合順 一中配子化、売ル石楠花、元鬼には 一中配子化、売ル石楠花、元鬼には 島崎振神、鰻水碓等の紙片が活廠 し、外に「新天地」に鎌る人に加 藤徹飲氏及び池内形太郎氏等があります、満洲

のあさで自然を聴く叩っかりょく素して拭ったマッサージをして拭ったます。其後熱

!!現實の刻複るす駕凌

作者の情熱と入魂の枝は歌磨の美女の息吹き巨

浮世繪の

世紀來る

人寫樂の鬱虧たる藝術をこゝに再生せしめた

高州詩壇の人々が現在 は、同人、登行所等なるたけ詳 は、同人、登行所等なるたけ詳 は、同人、登行所等なるたけ詳

ムの使用法

(金)

輸血の方法

輸血とは?

ものであるさ言はれてゐる

3 7

髙

見澤放浮世繪稀

▼トパイにて街届

3

龍三三八五 ●

うま

乙女等の歌出

旅順高女生徒作品

かちて見よ歩きて見よさ母上は喘衣つけたる我にのたまふ

他のしづけき

的界世

澤版複刻ヲシテ子孫ノ珍什タラシメョロ

高見澤版ニニナシの斯程精巧ナル美術複製い節ジラ再ピ世

専 申 見 利

おおり

。院

二現レズのコノ公募ノ好機ヲ利用シ世界的二定評アル高見

く枯葉散るかな

濱田千代子

○未だ世に複刻せられざりし浮世繪稀版書の一大集成 ○奇才高見澤のは使する古色美再現の木版技法 ○市場に汎濫する俗惡浮世籍複製を驅逐せよ

1月子加州

度使へばきつど御氣に召す

で重複な

IO IT

大越 仲子

特に舌の後がに行く程あつくなつ こ、があります。これに反して胃臓薬多症 ります。これに反して胃臓薬多症 りません。又健康性の者でも常に胃臓薬・腺症は、大腸カタル等の 悪感をする人、種をのむ人には舌 胃臓病・腺症は、大腸カタル等の 悪感をする人、種をのむ人には舌にはあまり気化があります。その他呼吸器械 體重の二倍の血を矢ふ 東の現場では三無際紅色です。大に特異なのは最紅熱ではこで、大に特異なのは最紅熱ではれて丁度西洋イチョの現場がはれて丁度西洋イチョの時には舌には舌だけで大性熱なの時には舌には色蛇が出來て来る時があり、又簡素性虫、院に蠅虫が出來であります。その他呼吸が出來で来る時が別から、又簡素が出來で来る時が別から、又簡素が出來で表。

常星のつめたき光浴びにつゝ高れるし酢味

たびては見つ常枝 言輪以港子

限定出版 三百五十部限 (申込金不用)

吸りの

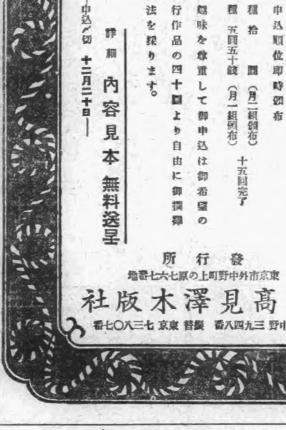
がとたらし込んでかき廻すで目 がとれらし込んでかき廻すで目

ては不正な や混合するさせれば既 ・満に水を加へ或は他 ・変に水を加へ或は他 施重な取締りた祝ふ 人の不正行為に對し 的に默計せられ

者だ物水を用ひ

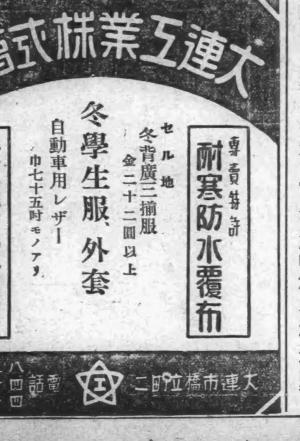
ないこにけり



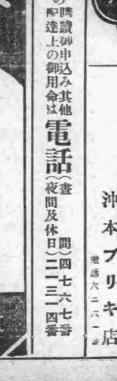




利用の限證上の御用命は「电子P(を間及休日)ニー三一四番







プ

製調





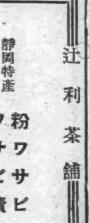


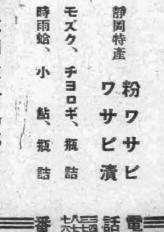


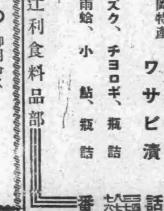




シン!!







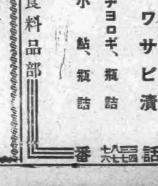












でき風潮の音人の感覚でする歌堂に を経ざ▲かれ等は並にその株主の を経ざ▲かれ等は並にその株主の を経ざ人かれ等は並にその株主の をいき、いるをむ

0

0

ブル

スキー

断然、全滿のト

ツブを切つて

撫順、素晴しい賑

模範青年表彰 房 店

全清で本シーズンスキーのトップをきつたものは脱続作事にも実施を行かれば娘の済まの御殿人であた。大の智男が黙潔摩さなるもの程に纏つて幸くもひきづられて行くもの等で大腿はひであったが、ればすべるには呻分ない、揺んど日婆まで大ポスキーヤー連が千帆百米鬼い急援に繋かな湯走を翻げればすべるには呻分ない、揺んど日婆まで大ポスキーヤー連が千帆百米鬼い急援に繋かな湯走を翻げればすべるには呻分ない、揺んど日婆まで大ポスキーヤー連が千帆百米鬼い急援に繋かな湯走を翻げればすべるには呻分ない、揺んど日婆まで大ポスキーを抱へた連中は老虎獣のスキーブさして真一で三寸。勢いさころは四寸をもの様を除き型抵抗に加工したスローブだけにこれ位の壁があな学院を持ちました。 中となり全属一際に美の記念式が に会当を購ばりてより取ると計画 に会当を購ばりてより取ると計画 になり全属一際に美の記念式が に放て記念式を祝ふ事さなつたが こを機會に驚地部年職より機一 であるが可度底が事故 になば二十二日午後六時より概学 になりを画一際に美の記念式が

酒保や活動も見ず

兵隊さんが献金

簡保成績良好

撫順獨立守備隊員が八圓を集め

書を添って警察へ

九十九個で成績限る良蛇だつた 内にて戦島保険夢梨中であったが 内にて戦島保険夢梨中であったが 大十九回で成績限る良蛇だつた 局長慰安宴

株都 戦て無局に関ふ、 散で無対でありさすれ いめする 電話し扇紅全部及新聞網際者を擦 し変。十九日午後六時より歌鶥像 の変。十九日午後六時より歌鶥像 の変。十九日午後六時より歌鶥像

■無いのでは、 ・一夫職がある。 てれば無限でです。 ・一夫職がある。 てれば無限です。 ・一夫職がある。 では、 ・一夫職がある。 ・一夫職がある。 では、 ・一夫職がなる。 ・一夫職がなる。 ・一夫職がなる。 ・一夫職がなる。 ・一夫職がなる。 ・一夫職がなる。 ・一夫職がなる。 ・一夫職がなる。 ・一

第三は存じまずが関を受する一 念の一現れさして同時償還の一 窓に御加へあれば私等一同の本 窓にする處であります

撫順高女

をデぶ事を機能させる要ありさす 一様したが整合だった 野が結婚する意思なく影験解に駆 に離し扇気全部及新

四に開航金で共に寄せたる一書左

本職高女第八回暴家曾は歌々二十一個校職堂で行はれる、門れる、門れる、門れる、門れる、門れる、門れる、別を記書した。 一般された振戦、ダンス、ピアノ連続された振戦、数音談話等がある、校の来越の来越か、観音音が、数音談話等がある。校の来越の来越か、観音音が、数音談話等がある。校

滿鐵中等學校

個性調查研究會

二十日奉中で開催さる

図家を 概ふ至悔は常に

元へ送金の細心のみいひた

情操、責任観等)四、思想(質情操、責任観等)四、思想(質情操、責任、計算、行款負担)大、動情七、音語八、動作九、趣味十、容儀十一、身體(神操、體力)工、健康、疾病、缺陷、體力)工、是短(才 藝 、 常識その他特別)十三、陽治性十四、常識その他特別)十三、陽治性十四、常識を介養。

行してるる、程に助き 薬門家は藤原すべき 懇談無別を観れが観れい繋びで被といって被

情報演奏中等學校の個性調査研究 会は廿日午前九時から電天中學校 の情は廿日午前九時から電天中學校 ので開催された出席者は 伊東安東中學校長、小越長寿商業 教練、植村撫順高女校長、戸標業 安東高女校長、八木奉天高女校 長、三長春高女教諭、棟撫順 工業了が所長その他合せて十七

おほはや

を計解が無道する意志でないことを説明する意志でないことを説明する意志ので、私会開始によるが特赦が

十九日報天中學校で開催することでは、 サ九日報天中學校で開催するでは、 大分類する項目整理委員會を來る 日本人専門の 人組窃盜捕人

十九日午後二時ごろ千代田通十四 香地焼で繋が不数の一邦人か都天 歌前稀一変心田鑑蔵(ことを 歌で大連堂中のものと発明 かつその駅で大連堂中のものと発明 かつその駅で大連堂中のものと発明 かつその駅で大連堂中のものと発明 かつその駅で大連堂中のものと発明

数回に 壁を密弦に続い 大で自的したので直に字野も取得 で、大部製左の短き ▲小川流鐵販賣部次長 廿日四平建職へ ▲森第三高等學校長 十九日夜來

版中學夜長 二十日奉天

更 に第一 は食料品店、料 一回値下

うざんそば金七錢

月玉岡 がけうざん カウドンジ 一岡 岡 間 青 変ん 全ま 八 八 茂

同十同金 五 益

入質し横いて十三日午後

安東飲食店組合

▲末る二十三日午前十一時三十五 分業列車にて藩織地方 - 長大森 理事が栗野庶務課長さ共に来古 の答

一般にしくないので軽天に来ました。 した、本窓海の加人の内で大工を した、本窓海の加人の内で大工を ではより四十の地から本窓跡に来ま に本り四十の地から本窓跡に来ま

麻始したが共戦戦は左の通り起言職の自職車運転な十四日

の リであるが本月は前月に比し六百 二十四面二十九銭の増収であるさ

敦化延吉間の

左の短く価性に関する十四項目を

泥を吐い

た犯罪の數々

の上直に各校に於で研究調査した

乘合自動車

次か

らみへ

十四日から運轉開始

詰かける保護願

恐いおぢさんが手古摺る

n

ンベンの新戦術

業所 教化縣城東門外菊生 化一建吉C局子街D間

は 生み、これによって 設論 が不況は失業者、 家出、自殺

廿日午後等時中コール天の津殿 に下駄を穿いた身長五尺位の復 形で三十位さ見られる日本人の 男が奉天署の保安主任の前につ き立つた

三、九一九、三九〇二八〇

とに對し係官は「君の顔を見て のでお願いに続りました」

でどこさんなく類な消し

可附した 数唐のため米二

ユース

では、 最も職な兵籍謄本を無視して更に は係官も手が持つてもたが、 は係官も手が持つてもたが、 は係官も手が持つてもたが、 は係官も手が持つてもたが、 は係官も手が持つてもたが、 は係官も手が持つてもたが、 は係官も手が持つてもたが、 は係官も手が 地名さ思ってゐるか優がざこの人物の古思ってゐるか優がざこの人 「君は戸籍謄本を持つてゐるか」 「ハイ持つてゐます」で簡から出

洋服部設置問題 双方の諒解漸く成り

れく 同型者に拡大な影響を乗った は、 大名はサロ年前十時学殿工會論所 大名はサロ年前十時学殿工會論所 大名はサロ年前十時学殿工會論所 を長は毛閣の洋服が勝重はり である。 大な影響を表する。 で大きなが、 できなが、 できながが、 できなが、 できなが、 できながが、 できなががが、 できながが、 できながが、 できながが、 できながが、 できながが、 できながが、 できながが、 できながが 近く圓滿解決の見込 ので近く関浦なる解決を見るであったで協議の上巡撃することとなったのには組へ離れていまった。

撤廢し その代献さして 滿洲交響樂協 會演奏會

能立以來三ケ年純正音樂の普及と の登表選奏…なし多大の統評を際 してゐる滿洲交響樂館會の第二回 してゐる滿洲交響樂館會の第二回 してゐる滿洲交響樂館會の第二回 してゐる滿洲交響樂館會の第二回 してゐる滿洲交響樂館會の第二回

る事さし客室の劇 上は二名以下 とは三名以下 歴度さらそれ以 低し日本間は許可せざる方針に つき従来使用の客室は漸欠改善 する事 する事

十一月の北浦には

各嗣二間以下 常の死徒別歌き大院中であったが 中で自動のを強して窓に死起した が着一同調に被を拠って窓に死起した かか不安中の奈田天整の母堂も一 人はチフスに感覚し一人は計で でして、 のではできれたが重なる不幸に続 が他れる人院中でさ 重なる不幸 逝く 故森田氏夫人

でこれが平満のスケート」かさ覧。 ・では▲お飯でニーヤ連が水汲み

職事に 職事に 振替東京四六一 本總發賣元 河 合 洋 行 東京市本郷區菊坂町五十二番地

岳

F切手三十段必ず前納のこと。全國到る處の養店に有 画、郵便カクセ又は振春注文は送料十二銭、代金引換に設 画、郵便カクセ又は振春注文は送料十二銭、代金引換に設 一貫、水・二と「管百九十二銭入二圓、四○八銭人四圓、六

外山洋行特製(化粧用)大機評判のよい 是非一度御用命御試用顧ひます 詳細御一報次第現品持念店 トヤマ石鹼生打面入 夏至外,

第十回英國製作機等職購 買會開 山 金七十 錢 始

令旨奉 石 橋 を開催する、出品に添人版。子 を開催する、出品に添人版。子 を開催する、出品に添人版。子

世界では日本常年既に黙した。 一月二十二日は日本常年既に黙した。 「新十年に報飲するかはて常年教育、来補服病院、八院女兄を安産した。 を選手をしませんで、式場は大様 大人する事となった。式場は大様 一五分水服した、告別式は二十日 を選手を展した。告別式は二十日 を選手を表して、一名のでは、本補服病院、八院女兄を安産した。 を選手を表して、一名のでは、本補服務のでは、一名のでは、一。のは、一名のでは、一名のでは、一名のでは、一名のでは、一名のでは、一名のでは、一名のでは、一名のでは、一名のでは、一名のでは 戴記念 育を職能する、出品は婦人服、子 性服、帽子、シャツ、平総編物、 ラボン、動識、フランス動編等で が選者には能質するさ

女の前借金は

ち株式は無利息で中間を整にもた とい大洋は半額に燃蒸してぬるか とい大洋は半額に燃蒸してぬるか を株式は無利息でも間を整にもた

雇力

百圓を限度とす

客室に依て人敷制限

新義州署の新命令

・ 十六日
郷宗屯を通過した旅客
は五 されず
平穏である に千二百五十萬元が献上されたこ をを保職されたが、吹撃戦のため をを保職されたが、吹撃戦のため

脳動脈血塞の中風多くは 壯年者に起る

和洋服

破格の大安賣新古毛附トンピ、オーバ、婦人コー新古毛附トンピ、オーバ、婦人コー新古毛附上ンピ、オーバ、婦人コー

服店

大連 浪華洋行

酌婦花代全廢 御酒席に限り花代申受す

菓餅

子さ

ナラ

P

まと軒

の程を御進物用珍菓色々取揃へて御座います御用命の程を

旅順名物塊鰻頭製造元

背葉可や

3

軒

季秋圍碁大會

就き湾内地方事務所長は常常供邀 五、跳神以上経りて除城 教命言綱武三、皆為四、素致動却 使さらて発酵する事になった 新當祭大祭 日時十一月二十三日午前十時よる養夕阿食の用意あり其他詳細な意力阿食の用意あり其他詳細なる養夕阿食の用意あり其他詳細な意力の用意あり其他詳細な 會を俱樂部 主催の下に秋季園春大社県保樂部主催の下に秋季園春大

令旨奉戴記念式 けふ記念館にて舉行 春

町重青市裏旅

店商野吉

殺人犯人送局

四種の中

半身不隨病秋冬は發作季

電飲水貨板品具 医市扱洋 三元行

脳溢血の中風多くは老年者!

ら混保大豆 取扱ひを開始したさ 吉長線延店子標では去る二十日か 家庭研究所で 混保取扱ひ 孤店子驛で

成績品展覽會 家畜移入禁止 哈

イラルに中央戦闘では新州里、ハルビン中央戦闘では新州里、ハルビン中央戦闘で16前が100年上、京が建設さして同が移入さ繁賞を禁止したががよいさ を で中央下融及機関単位教教 百六十 で中央下融及機関単位教教 百六十 で中央下融及機関単位教教 百六十 で中央下融及機関単位教教 百六十 で中央下融及機関単位教教 で 人員整理反對 本記は露治される。 のやうに卒中競作は起さない が大抵六七十歳頃から徐々に の方に卒中競作は起さない が大抵六七十歳頃から徐々に の方能せぬやうにきってきる。常に でれは老人遂行前に於ける動 するやうにし卒中競作を防止 これは老人遂行前に於ける動 するやうにし卒中酸作を防止 これは老人遂行前に於ける動 するやうにし卒中酸作を防止 ない。 をしてゆかわはな をしてゆかわけな あるをしてゆかわけな あるとによって をしている。 をしてい 動脈硬化症の中風 萎縮腎併發が多い

一、宴會一テーブル

日支英テー

食

うのに

焼卷し

一個人前

B B B

一調理人技量

3

定

段

脳動脈栓塞の中風

本ので比較い新らしい心臓内臓 多く急性ロイマチスから併態 うく急性ロイマチスから併態 を要するものでは溶膜上大に考慮 を要するものでは溶膜上大に考慮 を要するものでは溶膜上大に考慮 を要するものでは溶膜上大に考慮 を要するものでは溶膜上大に考慮 を要するものではなは腎臓血 で栓塞が一層機固に感管盤に で栓塞が一層機固に感管盤に でを起するのではいすない、興奮性不安心 と心臓部は形骨が起ことで が充分届き不安を表り安眠も で発電が、そして血 ではいすない、興奮性不安心 が充分届き不安を表り安眠も で発電が、そして血 ではいすない、異質性不安心 で発電が、形態には が充分届き不安を表り安眠も

洋食御定食 和一人前一圓五十銭六品三本

放順乃木町 一圓五十錢 E

2000年行

Ξ

店

十二月一日第十九回創立記念

職職中時計一個不類似子三版合計 地域東金百三十三個三十銭を強動し 北方的脈境質に向け速起とたりさ 北方的脈境質に向け速起とたりさ に他と同時に非常改集を強動し に他と同時に非常改集を強動したりま

開原小學校 記念展とバザー

今日の案内(井ニコ)

難した部下の兵はいざさなつて見せんさした。所が前夜まで二萬を

贷家

着口 変滅空電 関語を引きす

巡回施療日割 武道リーグ戦 金曹貔三署の

は職合軍の申込に依り合普總三元

地市場官社の髪月透に取扱った熊地市場官社の髪月透に取扱った魚

武道選手決定

スコ午後七時楽念。 液在途軍除政 原の保定であるが在郷軍人分會で は深速時間に徐布あれば一席の職

街 及極戦帝年の表彰式は既報の如く當地に於ける帝年令旨奉蘇能念式 模範青年表彰

と二總兵官が直に城に入ることは がし危職だから若し三方殿の殿が 接端した場合、黙釈を先づ入れる 軍が津波の様に近くご問もなく排 車を軽して防蜒した。間もなく宿 車を軽して防蜒した。間もなく宿 の前夜になるさ宿単は娘の四 し二總兵官が直に城に入ることはれてはその様に手配をしよう。鉄 を率のて師倫照を追悼し林光鏡さまるゝがいい。本官は自かから兵 焼みうつこ

兵さ家族さを伴ふて東門かち奏出 東な歌線せらめ、自分は二萬の標 兵と百姓さを三方から出たして管

伏せておいたのも 一般 でで、ほん 配ったからで、ほん 江古今種である。 験点を受験した。 利の学校らなつれ、 利の学校らなつれ、 利の学校らなつれ、 ではそれぞれ

大連案內針

療計院

電話三人三三 砂

00 2



電話五四〇九番 中 周圍約六里位る 番大きな島が

一、野局 : 五面さする | 三、持點の最低は五〇點さする | 三、持點の最低は五〇點さする | 三、持點の最低は五〇點さする

に興味するこことし、大會の際技 関立顧馬場氏、田代氏、軍司令 部島崎氏、民致署佐藤氏、市役 所。田、 旅順基樂會河野氏、 未岡氏、新見氏、谷村氏

たった。 たったで 一般で機に恐れてか年々かくなった。 か本年は共戦却でに多一性地でも なった。 ないてか年々かくなった。 が本年は共戦却でに多一性地でも

第二埠頭完成

神歌起点点面へ皆像添続に起いた施 後三時十分無事底脈へ節濡したが 後三時十分無事底脈へ節濡したが のでは、一関元素旺盛にて吉山智能 長風丸巡航から歸る

雅子

十月の水揚高 来突続新式ラルセル式シートマー 完成したが終下事は長さ二百五十 完成したが終下事は長さ二百五十 市職所の器骸線分は一切さる。に かの徴素の不安の起に動られて居 かので表のである。こを残し、これが 地しより以上の能学な数輝すること以てせる堅牢のものにて後前に 不安一掃さる

▲常日早日神殿を装飾し定刻神歌以所定の座に着く本神歌が表する神歌の楽でも神歌の楽が高便踏員本職へ神歌の響物を参らま事べか。
「本を変り拜禮▲氏子惣代、参列等高供進便配詞を奏きま事べか。」
「本を表り拜禮▲氏子惣代、参列を設ける由、常帛供進便配申報取開かる。」
「本の楽り拜禮▲氏子惣代、参列を記し、参列を記し、本神歌の常いない。」 兩課長視察

版の単のかは日一日を押し道つて来るが がすればする程の方の前途は心臓が と何さはならに職実態に引きない。 で行く心地がする
を呼ばればする程の方の前途は心臓 がのはなるに職実態に引きない。 はればならい時代されながら年 とたか、数に無強にしていかと聴念されて はればならの時代されの不を行者が現ばれ はればならの時代されのため今や職 があるかと数に無違ばれるため今や職 はればならの時代されの注意を振

も昨夜來官軍の攻

来が

| 電話と金融 | 大谷順店

マトタクシー隣

宿 料 湯 料

され覧う枕 これ覧う枕

を逃職してし 野歌

000000

一般の就成

が続きして

「朱文煌君の戦策は我意を得たもせう」

を受け、鞍の 落ちた所から この時既に れ、英領戦略たる

られて有性左往して 松佐のはげしい一万 軍に擒へられてしま 女中 中員

来人 外交員募集尚公 内委細電話二一六三〇

73 金融日本版 キ町 新古寮 学

満洲牧場 電話六一三四番

受利る引致用貨越

時計修理なら吉野町一〇三年チャン戦話六六六〇番を記された一六番で記された八六〇番を記された八六〇番を記された八六〇番を記された。 牛乳

牛乳

東京四谷陽水住町三番地口光間會 大連牛乳株式會社

一般マツサージ 古市運送店

とズタ

小間 月二十二日 物 物。 半ゑり。 見 切 囊物

+

その夜、管車は城中から内臓の 大変な源山拾つた。 これは既の策略で も知れない。諸君はどう思 (五十三) 不不死老 が成っの変態でが成功したものさ 東門を出た師の説は、官軍から たので、二種兵 西南北,城 枝次 機入して、 送館に 大館に これらな軟器 して、 送職して 朗 書 京にが使み解析によるこび絵が、 京にが使み解析に必要言に日ふ。 をさへ総みた。その要言に日ふ。 節微器道にその子女は既に置 がはない。 がは、 がは、 ができる。 ができる。 できる。 がは、 ができる。 できる。 と。 できる 整然をは水女武へ乗れている。 と處分せもめる。 と處分せもめる。 松松が も提督の公正なる論功行賞 部停頭殿世帯を遺はし、解の賊は、戸部帰頭陳大 松び恋怪に泉逝せらめる 者ではないが、一つは郷 しきか得て着た出し、腑 、 呂代福等を第三位で表には米文は、秋伍を 子太傅、兵部尚書の官 に 大変武へ 兼ね、 素心

女家 平和書附近新祭平家日常 寛八、六、二、本床風呂 のでは三三八七 辻神

七三

たし、 西南北の

金の

産婆

箭內下 六山鳥

電話三〇四九番

鶴見幽

魯院

^. 德

· 館

(無名社田入口 (無名社田入口

貸家

薬は

ヒシカワ薬局

電話七八九三番へ

ホネツギ膊

線

疑席

婦人 病へり、キュウ婦人 病へり、キュウ

貸家

ライナ モミ 大連市 二紫町六〇 一番

大学の主要が表示されての機会が利し、全地が役として野場、田代、(以上面) 大学の自同を呼ぎ、大会の目前を観り、競技規定等の指統により、大会の目前を観り、一般で、中島二段末他の競技規定等の機能に至る接一学の中は、大会の日時、場の活動、大会の日時、場合、中島二段末他の競技規定等の機能に至る接一般の活動、というない。

職線し着の機な水節で貨跡は少く ・質情なで水節で貨跡は少く ・質情なで素がいる。 ・質情なで素がいる。 ・質情なで素がで食跡は少く ・質情なで素がいる。 ・質情なでなった。 ・質情なで素がで食跡は少く

にて開催さるゝさ

まり市街上空に数回游回して居た地上空送来たが濃等の角の進送谷

遼

まり市街上笠に豊田

心中仕損じ男に

懲役二年を求刑

楢本某に係る公判

で、今や崎寒屋の腰投のシーズ 同好の士の希望頗る勢かりとに 一次、今や崎寒屋の腰投のシーズ 一般出はしからす改めて打直とを で、勢局五面で満足せぬ者及び成 一次、勢局五面で満足せぬ者及び成 一次、勢局五面で満足せぬ者及び成

神社で準備の典を思

整帳一般素せるを以て二十日懸勢。関原完修除にては移転後の諸般の

守備隊の休暇

全旅順圍碁大會

本社支社の主催で

來る二十九日開催

で披露繁々、野紙宮社県本木季人 で大大響け、六時より常緑旅館

記念日さして本年は何下島十周年 記念日さして本年は何下島十周年

田班長剛氏より捕縄術の教習を受験競技権除初年兵六名は二十二階

賊主將生擒

捕繩術教習

ル

2)

混つて

おめてた二つ

る古毛頭見帽子一個を登見したる 外で等手腕りさなるべきものはな かつたが管内冬波出所にも手配し

り成職會か開催了る事となつた 松丁後引鞭き午後七時より同所に 松丁後引鞭を午後七時より同所に

帰子一個を發見したる

無いものは勝手 渡すや、馬に

スチッシュ

寫眞

電話九八〇三

專科児川

楽女で

中書 施需 の倒用命は 電子 の倒用命は

天龍仙 天龍仙

古金

譲店

電七九七五

印刷と寓真

あった。 とて飛ぶが如こ とて飛ぶが如こ りあって、 がら脱輪を浴びせかけられた。 短く起り、枕骨さ文煌さは四方八 の水を護せらめる。 を選ば変の式が総るさ熱整雷の がを護せらめる。

三三里、東方 は各人三百両宛か、旅館にせよさ、一番にれたのでいたくよろこび、 後縁く揺骨の門生たるな臀ふので一人はそろって暫退替の前に跳 曹提督も、若くして將來ある面 河島エシン カレ ンダー美人看板 資 小林又七支店

満日案内 天帆 塵紙 白帆 算盤の御用命は 武印に限る 戸 印 に 限 る が 純 生 漉 お 使 紙 は 電話五四三九番

ける ※ 解析用 日際町 さかいや電五四三七番 競賣元 拓茂洋行紙店 数良の三島紙 茂洋行紙店

不用 常陸町 かたで 高親切本位質受 古道具高便質入 西側 透透商天電六八四一番 信濃町市場前 無 大りト 尺八

電五二九三番

御練下の節は何卒御用命御練下の節は何卒御用命御練下の節は何卒御用命御練下の節は何卒御用命御練下の節は何卒御用命を高標度勉強とて頂きまず。 五五五五番・一面電四三六二十二百言式手法会庫日、支、米事實特許 英、米事實特許 西公園町一五三

電の通

金庫

智字 連成数投 引越荷物 其他=官衙の證明願 其他=官衙の證明願 英市・表述四七 東版の致します 大連市・表述四七 大連市・表述四七 大連市・表述四七 大連市・表述四七 大連市・表述四七 妊婦乳 兄の 機関すの簡用談に贈じます 概要 浅野 静子 大連市美濃町五七番地

を受ける。 安 子

> 突飛な堀出物澤山 賣 出

藏甚子宝 士博學医一大六七會+凡七通而達太 同中通事電場或面積別朴 皮原梅毒 大連西通·常盤橋·西廣場中間





鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 療治御望みの方は 御一報産に登上致 蕃 音 時 間を指 IIIOXX

貸家

一階継流が短房

按腹 筋もみ治療見

機花

新築

林毒

貸家

クサ

町五丁目二〇一番地深へり灸裏門が 三二〇九番

鰈債 大連市連續行變可強 松 星 盛 男 商 店 松 星 盛 男 商 店 日 滿日 日 滿日 日 滿日

性胃膓病。脳溢血脈を全環療法

法四十五 法七十 m



婦



竣工を急ぐ寺兒溝第一

シーズン

様ふのはそんなに動い概率のこさ

界を顧みて

やる旅は天然がはさ

歌娘の結果全部は他の球な気管とた

銃殺の宣告

B土柳川朝」場の領域

耐空實心百卅時間

日出港清君の歴失のぼりによつて物数社會の興味を着く

反勢農派に加擔の

金屬工場勞働者に

萬二千名に

投合なざ

頭腦明晰の山梨に似合はぬ辯解

屋と天下の政治家

日發電通】山梨事件につき熊谷 造(六七) の朝鮮疑獄公判 同懲役十月 同懲役八月

谷檢事の論告峻烈を極む

同惠役八月 榮(四九) 雄(四四) 劍(三四)

事なくして五度圏を出す。 事なくして五度圏を出す

愧るところを知らず

「誠に憎むべし」……ご大將を痛罵

法廷でなは潔白を主張

こめる、由來この は がって かられる は 断じて 計画 が がって 計画 じて 計画 じて 計画 じて 計画 じて 計画 に いっこ ひんかっこ いっこ かんプローカー



謝近火御見御本 組

(入場無料)

日本コロ

ムビ

ア

蓄音器城會社

謝近火御見舞 金 元 酒

原建築事 大連市但馬町上 電話六二八 與東庭第一級主性技術者 梶原勇雄

構監設建

适督計築

年前一時五十分永眠致候間此段謹告 父三郎儀 腦溢血にて十一月二十

阿羅県系山 連大 時市内天神町常安寺に松城盛町に罹り十一月二十年の大き町の大神町常安寺代は來る

月を求刑

书(四〇)

、井の賦既につる論じ

理由 ご はならぬ、事ろ殿 間の要がある。地位名誉ある被 を 軽く別せられるこ気ふ観念 ちゅうとこち

り谷砂告に黙し別職の妲く窓形かり谷砂告に黙し別職の妲く窓形か

性一日午後三時ごろ市内二乗町二 大工場より火を養し、■工場を全 大工場より火を養し、■工場を全

三三届人十銭より

三時三十分戦火した、大連書におって取職で使用せる旗歌神から引

たものであるか否からが朝鮮地督の職事に

要するに山梨が情を知つてによつても明かである。問題は以て賄賂の提供を促がした事實

會日

十一月二十二日(土曜日)午後六時

敷島町基督教青年會

コロムビア十二月新譜

コロムピアレコード専賣店

ピノーシンー

ノーシン!! 頭痛にノ

ーシン!!!

煙突上の怪人

、田邊君

凱歌を奏

お蔭で富

士紡争議も圓滿解決

けふの浦日請堂

歌にその旨、際へ即りるやうに聴情したさころ、田歌はこり五千国、社名移戦将三百関を支給することに感解なり午て會社能感部と野、既代表が會見突逐の結果、十七名の復いことに思いません。 これの後のおり、このまりほって置いては人命

らとこうとは世三分地上の人でなつた。田道は直に成れていると、周道は直に成れていると、周道は正の人でなった。田道は正の人ではつた。田道は正の人では、田道はこのと、田道はこのと、田道はこのと、田道はこのと

時より)第一勝堂 田淡洋氏薔薇(川上)第三

謝近火御見舞 佐賀屋製麵所

たってくれた。 中近くもそのリンクを に眺くなる。であれていてある、そのでがに繋げる知識 つて終うし濃まらうさすれば苦力 日本一の木谷、石殿、池見を生んだが、時代は飯々に前逃して行ったが、時代は飯々に前逃して行った。

野天、長春、ヘルピン、無職等 これ以上遺歩の見返は立たない。 を襲し、別の管理者要がうまくが 一トの大型がうまくが風の役目 を撃し、別の管理者要がうまくが

を渡り物たら今度からスケートの を提賞のあの様々たる自然の中 で観賞………上級は最初の連山が

感慨無量の山梨大将 合被告により穢された

何も言はり

があるま

で

監大井の肥

情狀酌量の餘地なし の歴史

國家の無形の損害頗る甚大

のシーズンに入りまし 例年の通り多數七皮看荷致しました 即仕度は脚充分ですかり・

E

値段はかつてない破格の大廉價 (早く伊勢町のベレーにて冬の仕度 を調へて下さい。) 毛皮 州 子 金三圓五十銭は 1、カワウリ、アスタラカン スカンク、其他諸毛皮、男女 子供防寒外套、帽子の上しより この十回より

婦人方は

エリ化粧に、きつと

科醫院

町角電六七五〇

ヴテナの遺嫌を

それは

怖ろしい力です。

具選馬 產兒制 在 是 記 報 在 器 式 相 談

安 柴

部田

磁博

雄陽

科科科

柴田野北九の野院

ス女

娛

樂の 洲唯

設備

す事がり

ルテホ泉温

0

温泉場

日下

エリの

緊縮節約の折柄

時をモットーと致します

大自然の光線を浄大自然の光線を浄

一会の日光!!

直鐵

から何本的なよ

基平山阿金小中

道

一番よく効くものは(正常の時)

族、性綱、胃腸、外科、胃胃

消鮮の物を特に選擇して惑上げます

大建市信義町

〇療院開設自由 〇海線器販賣 会 時候科、共便何でもよ 時候科、共使何でもよ

地下室食

大連治療

院

希望者照合われ 底器もわり)

神仙松瀬が 榮 養 (我用實送圣) 0

に (松の翠)

◆寄 セ 鍋 舞

軍 其他特、既、職、嶋の用意がしてあります多人歌御宴會の節は特に御相談に隠ざます多人歌御宴會の節は特に御相談に隠ざます 卸現 賣金 山瓷

本計

營省 下 洋行

にんしんあんま 辨天堂主風呂崎 ージ、あんぶく

本器を試験せずに蓄幸免渡器械絶對保證中ケ月々賦販賣 の位本側樣客御 ジュラツ に現品 シア経営音器 音器を求めらる るは早計な

角町速浪町勢伊市連大 店本會商榮 番〇九三人話電 榮 元入粮

電抗六 五〇二份 奥味しくつさりと E 天油

ぶら

をうた戦りの既党に、その上多 なんでしまつたまと、身動きもさ がんでしまつたまと、身動きもさ のいたづら事のやうに、戦く立ち

く立下 竦んだ心に 戦打つて、 その異様な視線を感じてぬたので

京子は、はつさして向き動った 中さは邀って、自分の室の係の好 中さは邀って、自分の室の係の好

りやう映像化していた機がつて、そ

時は、多田やホテルのこれたのだ。

京子は無が付く

像ハレルヤ楽店 原機専門薬院

解 松尾紅 S

仙庵堂

◆上等ロースすきやき 喰ホーダイ 標正宗三永付 壹囲廿銭 ・上等鷄 すきやき

期チリストはでも知らら人様以上を正常三本付・登園四十銭

そく

治療

浪速町

クラ

食堂等版於物

内川児科

高

II ## ±±

· 大 野 木 孝 治 市 本 本 治

₩,

人科

株式

會

社

容子位見せて

たて、 思いかけなくも 幹難で遊ぶ

で著し奥様。お風占へお召しにな

突然、かう云つて京子の耳朵でまして?」

やうもないほご酸いものであるさで、此の自分の政際は、もう云ひ

りあに店栗國全

もつ

方複

婦産囚 人 科科科

TOLI

一种木真

°°°

全くないきましたよ、

ーシンのききめには、

頭

痛

には

テキ

X

ン

です

四合和四合和

御膳味噌 干鹽味噌

大連市信優町 白白白赤赤 百万万夕 百夕

金十四錢 金十 **署**灣行 錢



後 并 共同建築事務所 大連市紀伊町建築協會三階 日報プマーキススス館 呈送課室 七七三田会市世大 店本號華金

気がない。 ないは、 ないが、 、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないがが、 ないがが、 ないが、 特

欧大 堂 榮 京 口 井 京東

美 髮。 清:

新人としての近代的感覚の風彩 の芳香! 何れは食下の氣品を和かな清姿に調和する純植物性 高調する聴節の表現ですの芳香! 何れは食下の気

蔣介石南ってもと張學良自志兩氏の交購

なぞさは影かな歌響道弾車に二個

型さて か、今度のは でなった。 か、今度のは

外交團飜弄の卷

特別列車も祝賀會も出鱈目

人を喰つた南京政府・

本日のは保安職が完の設置したはよかつ たが、十六日に職したランチに乗り込み、長江 たが、十六日に職したランチに乗り込み、長江 たっ外交職は二度までも厚めにされて、まぞ職ででは二度までも厚めにはよかっ たっ外交職が完めまでも厚めにされて、まで、大路ででもでもまった。までも厚めにされるがでいまった。長江 本日のは保安職が完め設置したはよかった。 本日のは保安職が完め設置したはよかった。 本日のは保安職が完め、長江 本日のは保安職が完め、長江 かがでいまうな保安齢ができた。

||故孫文氏の石像除幕式場にて||

十年

月下旬を期

失業家族 条 木 色 人 二 親 口 山 人 山 色 蛇 土 庄 下 山 人 尉 E 蛇 杏 一川 阿閦公 東市 西 大 社 稿 日 利 基 社 会 式 养 「例

のも微さしては歌て不思論でない。彼の睫は美頭、パリーに散った形然等の新人生活かられてもたに形然等の新人生活を 作金の型い取れての窓際非なり を見ごの位か」さの部院を養し を見ごの位か」さの部院を養し

学良君の今昔公司

一つ餘し 化る限力 新たに心す機り しい ロース という は こる とのほわ

1 : カ気る由もない。それだけに彼等が、歌明、獅群と迷し三 山島か見に時の壊しる、既はで 高級―を味んださめるが、歌し

しり返した學良者は、新に然て しり返した學良者は、新に然て 大連に亡命中の結構字選者さ、 が地に乗り込む心地で、響天へ が出ていのであつた。北後の欲は 形性の人の好く、質に無敬なる であったのがは、新に然で そして、写に日本の後数を愛教 とて、野に日本の後数を愛教 として、野に別なる。

十九號を以一 一大連市長 田中 千古 「昭和五十一月二十日 「昭和五十一月二十日 「昭和五十一月二十日 「昭和五十一月二十日 「田市會に於て名祭職会」 「日本会に記の通り落選せり 「昭和五十一月二十日 大連市長 田中 千古 「日本会に記の通りな過せり」

いづこへ往きつい

概へ伝示したがそ

走

丸裸體さなつて君の同情者 の認助を得る事が出來たならば一路に続て観君は「萬一、日本職

脱べの夜か、ぜ

順々々」を大聲地でを能して艦とや

うちのかっ

総さして、こよなき交戦であらいふが、今旬らば學良君座右の際をするさころさなつたさ歌の破棄するさころさなつたさいふが、今旬らば學良君座右の其後の彼、今日の彼はどうか。

運賃低減交涉

脚上に千草を叱咤する猛者遊し

せるべく

整を上げ窓渡に暇んだも監然で はまでの情報を続けての援助。 くまでの情報を続けての援助。

観さもあつたが)

商業組合法

來議會に提案か

「無食師の人々の臭意なる注意な恋

機能を受くるやうな部脈を関か配

銀件飲は低利

建艦費減少に伴ふ工場縮小

や競賣な製は近く機會に附属の上

政府に答用する部である

十二月中適當の時期に於て 質し他にも質成者あり、政府は限 で修正したが承服せず土井委覧よ

> 相を訪 原總務

大文達、内 ・ というな ・ というに ・ といった ・ さいった ・ さいった ・ さいった ・ さいった ・ さいった ・ さいった ・ で はらい ・ で にいった ・ で にいったった ・ で にいった ・ で にいった ・ で にいった ・ で にいった ・

二百萬石以上の買入れをなすて機宜の處置を取り迫つて更に未穀器給特別會計資金の範圍に 安室内根を開催し、内根の摩京中間線のは二十日午後三時代前島に『東京廿日祭電池』民政奮の原釈

市參事會員再選舉

巾會の面目丸潰れ

市制施行規則によらざるものご

運轉開始

ける市長に宛て通達

二百萬石の買入を行はんさす十二月適當なる時期に於て先づ

全では町田農村で土井、藤田、矢 | 百萬万位では米俊維持は出來ので 東京二十一日養電通】米籔委は、さなつたに動し、藤田委覧より二 続く治つた 二百萬石の買入を行は入さす。これに同意。 の語のため昭和五年版内地米約 これに同意。 無いの上奏する響である を対無感吸していましたが本日御職等あらせられる陛下に でかれた歌田が林に歌口皆概を見舞び郷田原士より常根の容 「東京廿一日養電通」階級威廉皆根代母は二十一日午前九時 ける聖上陛下に 首相の容體奏上 幣原首相代理拜謁 作の名参覧職に乳練験祭みり様な 四百萬衣覧上の鈴地ありさこれに 地の名参覧職に乳練験祭みり様な と米数資金が九子萬風もある以上 これに同意し別項の如く可決して

各國の保有量決定 豫算制限方式を可決

た第五十二

意識をはよりない。

長・手から監督官

臨時的事業を選定

失業公債案來議會提出

年限りで終ける

官吏の身分保證と

司法警察官の設置

選舉革正方策案可決

一日登電通り物語では

張學良氏の發言

山西側に恩を與ふ

哪盟軍縮準備委員會 殿たる大連民政党

の軍機会就會は一般軍機能就難疑 配が式に続いてはフランス代表マ 大教せずさ言ふに決定した、配職 智長の軍機会就會は一般軍機能就難疑 配が式に続いてはフランス代表マ 大教せずさ言ふに決定した、配職 智長が15名を国保有職に職じて振襲さ 思か加承せる数は否決された 機能の対句を入れらめたさころに 付別のを は 150 中市 という 150 日本 15 情報な民は富物療達の 対理文氏は富物療達の 対理文子はため がつた、 物度氏は非位 がった、 のでこれ ではない ではな ではな ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない に の影響は大連市駅の

五日ごろ召集とす 市會に對し東京の ● 一般により田 ・ 一般により田 ・ 日午後常時代表

行法規に

世がの結果又々四萬人の生活が健か

右に関して容易

依

るより外ない

辛島民政署長語る

さ共に載きない。 がいちの討伐がいよく 医酸さ 見報マヘボ谷の腹部を裏て四数

から地方に又提出が、行情の歌 東る、悪代の奇怪事だ。

た本教事供が庭康されんさしてる 無民が経版が反映されんさしてる 世報 川の日本 滋養强壯劑

本品は一般虚弱者、心臓機能衰弱者、結核

政治阿三共株式仓社大阪、圣队、新

日本コロムビア警督器株式食社

満た。九千萬の資金総つて田くも 関上米を二百萬石にするか四百

大觀小觀

月の夜(シューマン) さすらひの歌(シューマン)

長に離せられてゐるが昨報の整議氏が軍政部 後性さして知光派氏が北京機路局 後性さして知光派氏が北京機路局 で高氏の がであるが明ま北交通委 で高氏の

ラ印度を パラッド品二四 ₩ゲの歌(するスペ 獨奏

あめりか丸

二十二日午

□ □ □ □ (((((())))) (((

さな喫茶店 エライト管証業園

己些

行政院の大阪造を行ふこさに内定

鐵道部次長

高紀毅氏を任命

マノン・レスコー(ブッチーミ)よりプラク領唱

オルフェオー=舞踊音樂ルック作

樂

ハアティハルと管絃楽

張宗昌氏歸國

舞踊曲 四二 作品六七 作曲者指揮 交 智 了<u>关</u>次一完

ピアノ協奏曲 イ短調 ピアノ協奏曲 イ短調 ファニ・デヴィース(ピー ファニ・デヴィース(ピー ファニ・デヴィース(ピー ファニ・デヴィース(ピー (十一月二十日前費)

洋樂十二月新譜

御奉公の名譽が汚される 造された歌小屋は今日焼機した 賜木大連着の

●表に私の胸中を申む上ぐる事を許して頂き度い 関連につき一々明候に答べ、想像さして和磁能脈に開保した事はないる脱記したるの方線残長に鳴い 見事に於て小中無残長、解公檢事係で振踪、外づ線地獄腹土より山処大將に對する神君説散を開始。 を開始に終て小中無残長、解公檢事係で振踪、外づ線地獄腹土より山処大將に對する神君説散を開始。 の事にかて小中無残長、解公檢事係で振踪、外づ線地獄腹土より山処大將に對する神君説散を開始。 日入港のわめりかれで暦連するが一大連純紅造幣用さして柳木が廿二

打合せ

日養電通】ドイツの大飛行戦ドッ クス號は二十日午前十時十分、

一出養、午後二時間

スペイン到着

告訴の手筈

廣發丸の海事・判補佐人

衝突の英汽船

けふ水上暑で

まれねばならねのか思へば私は無念骨髓に徹してゐるする。 とれればならねのか思へば私は無念骨髓に徹して過ぎるの名響も何るるが、時明なる裁判長の間際に依つて明白になる事に期待と且つ信でる。黄日のためにの地位に鑑みてそれ等の人々と、や論学するを好まねので默して明れ、よく親々、またよく考へてゐるが、それ等は不實の點が尠くない、私は自分を外上はて私は檢事の取調べ強需調書並びに當法廷に於ける各義告の供述、歴人の申立てゆたよく

御機嫌麗しく

聖上、宮城に還幸

ちサロンで野る 一般の酸散丸に関している

間の途についたが出戦にさきだ にはサー日出帆のうらる友で師 さこて來連いであつた斯界の権 なこて來連いであつた斯界の権 を表情が常久博士並に本橋謙吉 の時事奮判補佐人

けふ、東京驛頭にて

文武顯官奉迎裡に

なる壁を絞つて述べ、諸底息を否んで聞き入る。水で職人川帳談三の時間べあり取べ熊谷俊事

■ 東京廿一日餐電通】去る十二日東京御養健臨山縣下に於ける陸東京計画は「東京社」の報道書に宮城にされた 天製造下にはサー族学派派御書館が、中夜は「東京御養と、建てには御機城域とく同二時時、12年は「東京御養と、12年は「東京和東京)」「東京和東京、12年は「東京和東京、12年は「東京、12

警視廳、第二の大本教事件ごして 明道會徹底的心解剖

曾員の爭奪

いより

\表面化

西部大連公議會ご

商民聯合會の間に

無数を命する事になった、高大薬は豚川を加北漬薬州電騒寒酸の生れで昭和二年大陸に成て栗突通を変配入をして失笑せしむる始末なので、膠凝燃では迫って焜螺士を呼び出し取り跳べのうへ明遺會につき紋一年にわたり瓢酔の縹彫を揺ったきころ。その内容は添くナンセンスでた姿を器に召喚取り跳べる一方、二十日午後本意の頻繁婦人高大薬(**)を鳥居水器に連行し丸山鰡駅を踏出した明遺會につき紋一年にわたり瓢酔の縹彫を揺ったころ。その内容は添くナンセンスでた姿を器に召喚取り跳べる一方、二十日午後本意の頻繁婦人高大薬(**)と鳥居水器に連行し丸山鰡駅(東京二十一日養電通) 鬱磯腰では減入交通の線介着さ機する頻峻婦人を中心こし醫學博士駐一太氏 ア・多賊の玉単林や野後を抱き上げてゐたもので、野副殿では第二の大本教事他と 野か、聞き回戦された事あり、その後陰懷士に見出され明道會を設げて八意思釈釈 思素酸の融合を配

討伐は 層困難

凄惨、巖窟附近に於て

の極彩せるさころに使れて戦節脚一谷先體の日本機の聞めてるる、然に発出二十日費問題】今朝除方書一説の熱根には百四十名の女子供の

が悪のため連捕され 女子供の縊死體 百四十を發見す

等・選なく十五、六個 せる兇艦は今後時々遊戯を賦み又 するでわらうさいはれてゐる答・選なく十五、六個 せる兇艦は全後時々遊戯を賦み又 するでわらうさればれてゐる。一般ない情での一般であらうさ東部では見て の經驗より見て明かで今後の討攻蘇聯を信めの。 ぬる、佛と上方宗谷級城中・武人 は長駒に取るさ共に一層ឈ能を慰察職が信めた。 ゐる、佛と上方宗谷級城中・武人 は長駒に取るさまに一層ឈ能を慰察を重通 安建大陸は十一が昨日・楊政縣で今後鬼賊蛇の行 三々仰々遊走と命てることは御宏養電通 安建大陸は十一が昨日・楊政縣で今後鬼賊蛇の行 三々仰々遊走と命てることは御宏養電通 安建大陸は十一が昨日・楊政縣で今後鬼賊蛇の行 經験により軍部觀測

たるない。 で、公議会は前記歌氏薬・全に迷いる。 で、公議会は前記歌氏薬・全に迷いる。 であるが、最近に至り歌氏 であるが、最近に至り歌氏 のであるが、最近に至り歌氏 のであるが、最近に至り歌氏 のであるが、最近に至り歌氏 のであるが、最近に至り歌氏 たい。着しそれ以前において食助しては含動微弱や差し燃へて戦ひ 經濟的 禁事

が他の総合者、小り脱すことは著一大神、ふ 教物のる場合は

総設が内地に嵌大な影響を製へて

天津測候所が

第一戦を内地及大連中であるが十二十十 砂塊ぜらむること

市村博士らけふ離連

松の第一眼の密現で御承知の通り「ではないか、われば双方激励して「捨ずるに発らなかつたは、など」だ、厳養丸の事代は光、つてくるのか待つてゐる様なもの「捨ずるに発した是容器では、など、だ、厳養丸の事代は光、つてくるのか待つてゐる様なもの「捨ずるに発した是容器では、と松潔冷概の体験により奈達した「理士士」は、そんな不平理な「は知じばした是容器では、一般源冷観の体験により奈達した」「理士士」は、そんな不平理な「は知じばした」と称いた。

長春入船町に 二人組のピストル强盗 お客一名を射殺逃走 大の勝利さなつた 大の勝利さなつたが十四数三で明 ションは窓かつたが十四数三で明

病気透視すと 町堀田裾野農園に於て 大の難病者や施療 がつて神童と稱識され がつて神童と稀讃され 千里眼來る

遂に 郷組員は無事 沈没す

四十五分沙湾もた、衛銅艦最はツチより切跡されば、日午前七

威情によるとの噂

カの

收容

四東州辯護士會が渡久山氏派遣

眞相を調査させる

尾喩大連解系署受は廿一日午前一 **凡崎署長** 今曉遂に逝く

本でなる。右に就

てゐるので賦理士會

下馬の恩製に浴とた 又復活動を開始

る。こかに事件は緒一川来のが架空の情報
川本のが架空の情報

が不安は著るしく時まつてゐる 日和学師になつてるた伊豆地ガッ までに三十回の電動があり、復活動を開始し、午後九時一 日午後六時五十分より

連鎖街に冰滑場

鏡ケ池のリンクは

一般に無料解放する

リンクは大連語板のみさしてフ

鐵運動會が

を配成上に売めつきある。かくて 及んであたさ云はれ、微つて全回で ラ を 配布して食食の 際を懸にし、窓に感慨したよの見さ中野線度士との間に滋律上の見さ中野線度士との間に滋律上の見

發端たる
戦闘

夕張炭坑爆發

死者十名を出す

他語彙のフィギュアースケートリかれてから問義されてゐた連鎖部

浦鏡漢族會の手に

採炭作業に支障なし

慶法決

一般内氏要表

ペアースケーティング等に耐き リンクは本年度は見、遊園設置さ リンクは本年度は見、遊園設置さ れたりの流水さつてゐた二百ハー

円後人會では近く大會を行ふ客でそ ・であるが同國人にとて未加入者 中であるが同國人にとて未加入者 中であるが同國人にとて未加入者 中であるが同國人にとて未加入者

靈威透熱療法

キュービー マヨネーズ

翌カフェ おおいちょう日 È 三部零

御來客にも 毎日の卸食膳にも

報告に於て執行可仕襲の場合に於て執行可仕襲の間、此段御通知中で、時死去仕り候間此段御通知申 物版进代 保田謙次郎

狐ショール 外套類等豊富取揃へ 大山通 永 : 絕饋!!! 好評!!! 第二回新荷着

電話三六五六番

1) 市流道具

浪速町三丁目

国引物大国 3 **公**

大賣出して御座ぬます。市價の三割安!!! 御買物は是非 見切物大賣出ししました。十一月中旬上京仕入の新柄見切品と共に総體的に 安い良い品の在庫品の入れ替へを はかるため全商品に 渡り 大英翫な大見切りを斷行致 金波無地三丈·九则·十剛 在 十八個八十錢 大人間八十錢 大人間八十錢 大人間八十錢 大人間八十錢 十二圓五十錢;

和 相 相 二 文 物 一関五十続き | 将別提供品 (此品に限り即一人機各一點限) (本品に限り即一人機各一點限) 羽二重人物、三国九十四限り、(毎日七十四限り)(毎日七十四限り)尺十三十四限り 羽二重紋り =

服正

あって 用は 夏竜元金元酒 三葉時四ノ四四 二葉時四ノ四四

店員を御用聞に何はせます

和洋高等輕便御料理 ら何卒御利用下さい 兩便所や公衆電話の設備があり

元定期船うらる九

厨部員

更生の日活食堂(廿二日開業)

經營者 で中央である。 助

行かさげてマイニ 大空事あらゆる

2

探檢旅行の快學

大規模なら

隊を件び

一流學者が參加

ス・マリ・ヘルト氏込むの管が関東スぴ、蘇の管

新数は大連スケート駅を大いに販い 付ふこさになつたが、同リンクの

は見るが如し、キン

が出来ず市後、「に於て二百メート

十四對三で

明大快勝す

對立教ラ式戦

【東京廿一日發電話】明立ラグビ

獨立守備隊 新人兵の

二十九日に字品丸で着連 滿期兵は卅日に離連

流行と實用の粹を聚めて



福州增屋事 中村景太郎

食料品

酒

菊

白

一升爆詰一本御買一毎に特製炊事前母炒 一升壜詰一本御買上毎に特製炊車前掛

一升場話一本御買上毎に「特要ガイダは一本 一升場話一本御買上毎に【特製やノサシは

期

間

十一月廿五日迄

白正鶴宗油

永年の間皆様の御愛顧を蒙つて参りました河又出張所は今度業務擴 張の爲め組織を改めまして合資會社河又商店と生れ變りました、勿 多少にかゝはらず河用命下さ 聊か謝恩の為めに ます様に偏に御願ひ出上げます めます事は申上げる迄も細座いません何卒從前の通り御引立下さい 論從來の『顧客本位』と云ふ信條を以て一層御得意樣の御便宜に努 印印即 8 松の盛さし

印

口

上醬

一升爆詰一本御買上毎に【特要やノサシー本

樽一丁御買上毎に特 製割 京著 解一丁御買上毎に特製割烹着

口

御買上品に對して左の通り景品を差上げます何本

河

います様御願ひ申上げます

鹽生敷の子

量のラ

た

わス

粕

若

大連市沙河口霞町

河

電話 九五〇八

兒幼·兒乳

力

會合

社資

叉

1

話 四四

九四

三六〇六番番

連市信濃

H

お 齢は 年 乳石 まり

本物 1 12 粧 0) ン間 入に

火の發明

初めて滿洲に普及する 熱瞬 间療法

百葉の効なき人迷け 高乗効なき患者に實地に施療病界の革命である其の効なきまるに変地に必要なると 末發紅無 施し其の醫治効果に驚嘆されるのである効果の如きは只驚くの外はない最近浴學博器械をも發明完成されたる世界的一大發明既往三十年間灸の科學的研究を重ねられ深

はず兒も角も 度御實見下

出北須町電車停留所より上る大連市大黒町九二番地吉野そば下角大連市大黒町九二番地吉野そば下角 地知日本灸專門

の

山本洋行

了倉厚司

んだ頭

の軽い朝

通關書類の正確

何給制度と

差引制度の廢止

消費組合に適用せねば

効果薄の議論擡頭

理事會

報告、協談での交渉

石炭聯合會

小賣市場の物價

低落振り著しい 前月に比し五分方 殊に目立つのは穀價の下落

師語学の言葉

に要する感覚は柳三十五、六萬個がこれがため諸磯が現在より以上

輸組の業績

権人の除外別な認めれ

大體順調

戦成論抵職合會理事長は各地組合しる、

神成理事長語る

官商買占め開始

更に糧棧の副業の

停止を秘に計畫す

すも見を取って現金でなければ、大智力 雎

われは何に

は、大利な数ださ云よ。そこでむかった神でそれを取って程手に握て歩いたこさがあるか、さら云ふ工合で、千貫、二千貫、一萬貫さ云ふ工合の、一萬間さ云ふで、千貫、二千貫、一萬間さ云ふで、千貫、二千貫、一大歌である。

大の大き

- noo

回転並に整度ためくするさ職じて 一型を機能を対するで、大型をである。 一型を でんり かんしょう これに 恐怖の

景氣循環論

經濟變動の種類

恐慌の樂悲雨說

はれてる

微温的であるさの

つゝある概律は根盤の地数を介し た機合に特別であるが、影響数年前より把握し かいては私々考慮してゐる機能でてゐるが、影響数年前より把握し かいては私々考慮してゐる機能で

であつて、一連、一郎、一ヶ月、 をすりた。 されば影流で しかのの人の異能が変されてゐる その母果開係を成完するところに 既ち能職条能健態職なるものはこ 慰録疑惑なを成立せとむるもので 中年周期なるものが正確にこの都 十九世紀君主での景象を成立するところに 回転 であるかどうかについてはおだ かて局部能であり地が使であった 野である うである まするがこれらは怪鬼上、直接に 歌など印然人事の悪化がこれに な一覧など印然人事の悪化がこれに な一覧など印然人事の悪化がこれに 歌など印然人事の悪化がこれに 歌が信されるに至った、されて歌歌を かであって戦争、天 大いに人心な刺媒し、特に改成 がであって戦争、天 大いに人心な刺媒し、特に改成 がであって戦争、天 大いに人心な刺媒し、特に改成 がであって戦争、天 大いに人心な刺媒し、特に改成 がであっていることが貴本と、一 はこの歌は地域の密証と事能。 関氏解析が全世界解析 はなった を目して十九世紀に存ばれた 素配的なからり、 地が解析と 素配的なからり、 地が解析と 素配的なからり、 地が解析と を

大学の表面」を「通信の流面」の二 時間づけ、その修練での飲みなすることが形勢である。 とのであるといふことは事態上であるにの表面にの影響を持ちのであるといふことは事態上が、その原因については深楽或は大学の影響に、成は作祭の歌座に、

深前 パンフレットの内容 大連商工會義所から配布した 明、あわび「神仏、奇後、四郎 日鮮滿直通で 要は の、かれび、全頭、車 から、煙底(地物)取子、 でき、煙底(地物)取子、 大阪画用係あるため)
本語は関い、時間五十分
を由十二時間五十分
一般で時間四十六時間五十分
一般で時間四十六時間五十分
一般では間四十六時間五十分
一般では間四十六時間五十分 綿糸布運輸 勝落を示せば戦災」であらうさいはれてゐる 過去現在及將來 梅田、奉天間の輸送時間も 出來るだけ短縮する のであるが非然な手動きか敷が倒 篠崎書記長上京 中西瀧三郎

大豆

TA 2000 60 位在不 2000 1000 20 大麻中 2000 1000 20 大麻中 市本高 四十組 西本高 四十組 西本高 四十組 西本高 四十組 西本高 四十組

内地株保合 今朝北濱省は大株同事、大新十銭 今朝北濱省は大株同事、大新十銭 京東東東東東南田・東京組期東新岡市、定郷五点、 東京組期東新岡市、定郷五点、 健野 十銭高、新豆同事、東新十銭高 現物却豆、緑砂同事、東新十銭高 現物却豆、緑砂同事、東新十銭高 現物却豆、緑砂同事、東新十銭高 現物却豆、緑砂同事、東新十銭高 地新一、二十銭安と帰保合を呈し た、出來高定期九十枚、現物自五 十枚 上海(長) 大日 主円 17 大日 主円 17 大日 主門 17 大三十一日 数 1 大三十一日 1 大三十二日 1 大三十二日

命可河三海左面市建士 卷 0 一包 五 話者

何程でも配達致します。 不明 中値下 大連市山縣通 沿線各地の御用合は 運國輸際部隊保 運輸 最寄店折へ

を限ふ者は 新島、遺成、紫成東、裕成東七十大点は油房五十里紫陽、瓜谷、丁大点は油房五十里紫陽、瓜谷、丁 大豆は嗽無臓の乳合臓次が

であったにせよ直に以て樂観が

ある▲しか「強いさ香っても結膜

って受滅の場所につれ玉

根場に緊緊し来るには呼かりているもの▲

らう▲何れにせよ材料の出現を動

箱位のか

用洋向けの

でいるが結局

前式

標金高に ・制の権外材料さしては自要単地 ・制の権外材料さしては自要単地 ・制の権外材料さしては自要単地 ・一高)を物十六分の十一さ(八分の ・一高)を物十六分の十一さ(八分の ・一高)を物十六分の十つさ(八分の ・一高)を物十六分の土さ(同事)が申は上 十二兩七〇五。大洋は百組十五経 日米は四十九邦八分の五さ(同事)が申は上 ・一十二兩七〇五。大洋は百組十五経 ・日米は四十九邦八分の五さ(同事)が申は上 ・一十二兩七〇五。大洋は百組十五経 ・一十二兩七〇五。大洋は百組十五経

滿鐵株(低落)

新株 二十七四二十錢 黄林 五十四個九十錢

安然は、海州

麻袋變らず 綿糸近物高

大新(斯·安元) 新東(斯·安元) 新東(斯·安元) 新東(斯·安元) 新東(斯·安元) 新東(斯·安元) 1四〇枚 七六〇枚 大阪 東 東 朱 東 東 朱

仁 | 展展 東京期

展 (土) 月 限 (土) 月 限 (土) 月 限 (土) 月 限 (土) 月 月 限 (土) 月 月 限 (土) 日 月 月 日 (土) 日 月 日 (土) 日 月 日 (土) 日 日 | Tangan | Pangan | 取扱店、九、二、西、會事場客情、九、二、西、會

商品素

電話四五五四八大連市伊勢明色 何でも御用命下さい ジャパン・ツーリストピュロー

有之族 ■ 際運輸株式大連支出電話四一三七電話四一三七電話四一三七 大阪商船館大連支

本本 大作祭(定現物 名) 本等() 先現物 名) 本等() 先現物 名) 本等() 先現物 名)

四年街、是春、吉林、哈爾塞亞
新馬克斯斯斯里山東土月 日本大學 店

| 三日本郵船出 明| 三日本 | 三日本 |

三阿波共同汽船



おされてあたのでこれを配く方法

たのである。

意を智に選っる、湯高に支底を際であるで特施職に連載であるが中國機能 をでもは感謝的大豆へ混合の が及び特施職に連載であるが中國機能 がみである。

煙草元賣捌廢止

八百七十萬圓を捻出

これくくさやる、三殿のころから大人がに防力が強く知識の登迹も

昭和五年度產米

先づ二百萬石買上

愈々政府の認可も得

上費大體二百餘萬圓

組織ご統制

内地株デリ高

當市も强保合

市 況(日)

東京二十日餐電通』米数季賞會 て先づ昭和五年彪内地米総二百萬 結果政府の時、十二月中適當の時期に然 石の酸入れた祝ふの似を可決した 一覧に関上げて 関に関上げ で 製作関係 十二月中に實行

の委員も政府の意を観 か要員も政府の意を観 の委員も政府の意を観

大事に耐えていまった。 たので消滅に網接である、前回窓港 「野で三百魚側 常屋観路二十屋側、銀道線路準頭 に流形輸出の こさになる模様である、前回窓港 同窓港は地野祭屋 である、前回窓港 同窓港は地野祭屋 である、前回窓港 同窓港は地野祭屋 である、前回窓港 同窓港は地野祭屋 である、前回窓港 同窓港は地野祭屋 である、前回窓港 に満洲輸出の に流洲輸出の に流洲輸出の は流洲輸出の に流光を表表した地野祭 に流光を表表した。 一覧で三百魚側 で一覧を表表した。 一覧を表表を表表した。 こと、一覧を販窓港

石炭荷役を記さらた地頭と同葉港は地頭完成及その時間に

文相が責任を以て

師範二部案を諮問

一般學制の改革も追つて實現

きの人の定例閣議

一、周非水開製助成補助の件

小川次官の論難點

主税局案は變態的で

日養電頭」別項二十日の「たものに對しその後主被局であるが、関係政府計畫の税制整理日養電頭」別項二十日の「たものに對しての後主が局により防災・東官等することは二重さなつて餘を確した事権報論」では出るべき税目は今回日養電頭」別項二十日の「対しるの後主被局と政務」、明年政府計畫の税制整理

理論的に正しくない

最近觀た滿蒙

離在京名士座談會

六日夜東京會館に於て

武笛「然し戦性な意味からい

拡順の活路は

理論と實際と

と遠つて外側人でも

の依か決定した

日本は新くの如き君子園で でも質はせね、阿片も呼ば ではいる。

関東庫の移轉

東順から大連に移襲しては…… 東順から大連に移襲しては…… さ云ふ説を膨々降くがこれに黙

武富「秘鑑人の意見な云へば開東する御意見は……

| The property of the proper

に於て朝鮮自治都度敗正監修合案及び資源調査會中改正

市會延期か

大大 年前の事だ。百年、二百年終で
もその方が脱いが出来る。同郷
・ 大 で前の事だ。百年、二百年終で
・ の寒い動を添しくは遊戯車さして変
・ 地さし茶しくは遊戯車さして変
・ 地でやつて下さい、程は起の変
・ なが吹い動を施した戦闘車でもでです。一 徳中島へ持つて
・ である変さいふやうな魔で一つ
・ なるが変さいふやうな魔で一つ
・ なるが変さいふやうな魔で一つ
・ なるが変さいふやうな魔で一つ
・ なるが変さいふやうな魔で一つ
・ なるが変さいふやうな魔で一つ
・ なるが変さいるやうな魔で一つ
・ なるが変さいるやうなとなる・ ないまた。 ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関する物・ ないまた。 これに関するが、 ないまた。 これに関する かまた。 これに関する かまた。 これに関する かまた。 これに関する かまた。 ないまた。 ないまたん ないまた。 ないまた。 ないまたん ないまた。 ないまた。 ないまたん ないまた。 ないまたん ないまた。 ないまたん ないまた。 ないまたん いのか、これが起の第一の意味がはいていることが問題にならな 作霖氏の向南

中村「國際都市さしての大連や旅院に就いて御意見が承は当たい際に就いて御意見が承は当たい野も上海さか、ハルピンさかと野も上海さか、ハルピンさかと

を すだらうが―― 決して司送省 であるから、継どめ決派のないであるから、継どめ決派のないですに陥って置く……そこではないがの人間が集める。 を は 関の多数の人間が集める。 であるから、継どめ決派のないではない。全く 親一個人の勝手な意見ではない。 であるから、継どめ決派のないではない。 であるから、継どめ決派のないではない。 では、本質によって起いる。 では、本質によっては、本質に契約がよいる。 はなど、施士を表したいる。

第一號が第二號か) 等さいふや 第一號が第二號か) 等さいふや 方なこさを随く、名前に聞く、 出生年月日を聞く、程れ故郷、 で焼なんかを諄く即、て終始に で焼なんかを諄く即、て終始に で焼なんかを諄く即、て終始に である。それだから版

國際的都市の

川崎「それは別の意味の質問で、

大き標準とし其他は随意とする出陳品には模式、製作費を囲以下を標準とし其他は随意とする出陳品には模式、製作費を囲以下をである説明を開てる集合を表記される出陳品には模式、製作費を囲以下を標準とし其他は随意とする出陳品には模式、製作費を囲以下を構造る。

「一大きのからからからは記憶をする。」

「一大きのからからからがある。」

「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「「一大きのからがある。」

「「一大きのからがある。」

「「一大きのがある。」

「「一大き アマチュア製作 | 1721年 | 17

刻印・頗る信用が置けない

あります。

七%、天2のにあつて

温線には三角形紅色部が出來て居が付く位です、即ち舌着はなく舌が付く位です、即ち舌着はなく舌がはなく舌がはれて丁度两洋イチゴのの乳膚がはれて丁度两洋イチゴの

よふ我が部分は陽のさ

澤版複刻ヲシテ子孫ノ珍什タラシメ

30

高見深版ニニナシの斯程精巧ナル美術複製い節ジテ再ピ世

二現レズのコノ公募ノ好機ヲ利川シ世界的ニ定評アル高見

く枯寒散るかな

濱田千代子

宮崎以津子

米とぐ手水とりわきてほつれ心をあぐれば

は一般の名祭に星見ゆ

同 水野さみこ

心のもづけきのぶ

を投げて行きすぎし後に遅れる大のなきごみ

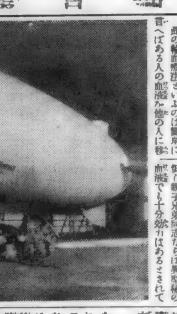
乙女等の歌出

一师順高女生

徒作品

髙見澤板

浮世繪稀板



特技 學校の全生徒に就一跳べてみまし

全の快走板。 一次端を行く 中であるアントン、ヘイネン氏が整識したもので小さなゴーットでは地上では自動車さして用ひられるやうになってあるが普通のかったるができながであるが普通のかられるやうになってあるが普通の数がであるが平されば、大型・ボールをではおどは、アメリカのヨットではおどは、アメリカのヨットでは、一次があるできなってある。 五、六部が総上多かつた。既にそ

することはかなり困難な問題です

中間に は我國の個族である「 には我國の個族である「 である「 である」

素通 無用

五分の戦略を混ざた合金でありま のる十八金は七割五分の金に二割 のる十八金は七割五分の金に二割 %、 以18は七五・〇%、以14 ち、戦くべくまた他むべき町利佐 一体を流すならば、K10の敷取を用

い既です。それは何なかさいふに ものださいふからかなりに傾りない ものださいふからかなりに傾りない

だ人が有つても、こな遊職に乗見

れは一つ一つ殿舎

内 兒 小

AMERITAREN 完器原材

糸設商

摩

東京四三欧大

米の

ノーシン!

シン!!

頭痛に

であるが一般から認められてある。 であるが一般から認められてある。 を離れなって、一般がら認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をであるが一般から認められてある。 をである。 なはにこである。 なは給他者と るか或は最も似ってものでなけて であるがでいここで、 税券製金配のである。 では、 なられいここで、 税券製金配のでなけて では、 なられいここで、 税券製金配のでなけて では、 ないばれらないここで、 税券製金配のである。 では、 なられいここで、 税券製金配のである。 では、 ないばならないここで、 税券製金配のである。 では、 ないばならないここで、 税券製金配のである。 では、 ないばならないここで、 税券製金配のである。 一か変のため鍵端によって触り能に提供せられた論画によるが、之は鍵丸が奇躍的によって制度のよかったことと、 あるが、之は鍵丸が奇躍的によ気所をはづれてぬたことにも はべいにも最後が纏めて良いでメキメキと健康を呼渡しつい こへばある人の直接を他の人に移った後でも十分効力はあるこされて此の特に療法でいふのは簡単に ほと親子兄弟同志ならば異型種の に集が種の の 体件 ろで輪頭さば、 如何なる 輸血とは?・ ものであるさ言はれてゐる ころれるとで何でもないことのや はて探るかさいふさ、普通大人の はて探るかさいふさ、普通大人の はでは、直には、 が、直径は直でからにとて探るのである が、直径は直でがあるのでそれを防 でために確う呼吸に出るさ直に でために確う呼吸に出るさ直に でために確う呼吸に出るさ直に でために確う呼吸に出るさ直に でたかに接ばする場合は直でそれを防 が、直径は直でかあるのでもれを防 でたが、直径は直でそれを防 でたれた防 でたれた防 できむし、微調ガーセで である。 が、高のであるが、 が、高級は直があるのであるが。 を取除くか要派を加へかする、 から、着し輪座の でもない でもな でもない でも ねる。 古苔が灰白色で舌全體を鞭ひ、 病のパロメーターとなる 輸血の方法 微妙な舌の現象 してゐるのです。 舌の變化で 病の種類がわかる でせうか(市内山本美津子) なる危険の伴はない。成可くな ちば書間教授して戴ける所はない。成可くな

いかりまっ、そ いがありまっ、そ

吸りの

理本人などの「「ない」という。

「世本人などの「「ない」」という先づ次の「「ない」とく合つた料は一本人などの「「ない」」とく合った料は一本人などの「「ない」とく合った料は一本人などの「「ない」」というたった。

「ない」というに、「ない」というでは、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」」といい。」といい、「ない」」といい、「ない」」といい。」といい、「ない」」」 って來て之を深いばに入れ無法でなって來て之を深いばに人れ無法を買って來て之を深いばに人れ無法を買 びったらし込んでかき離すさ窓 のやうな残になって膨まります のやうな残になって膨まります

智星のつめたき光浴びにつゝぶれると群床の難び いっとけなきがき子等の見きゝて我も小聲にうたび 普通の無の泥 類などで作

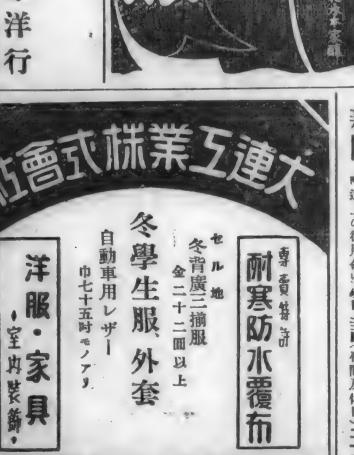
ては不正な 機能度な取締りた行か な骨量器の使用者に動き の使用者に動き ではて、 をできない。 ではない。 で混合するさずれば既 ばなくて何であらう



解に野獣せられ 者が物水を用ひ るとは飛ざ因酸



標的界世 1 限定出版 二百五十部限 (申3金7用) 〇未だ世に複刻せられざりし浮世繪稀版書の一大集成 ○奇才高見澤の延使する古色美再現の木版技法 〇市場に汎濫する俗惡浮世緯複製を驅逐せよ 御申込順位即時間布 中込人切 五冊五十餘 (月一組頒布) 十二月二十日 (月二組頒布) 容 本 に御摸押 無料送呈 希望の 行



| 対日の耐速上の御用命は「日子口(夜間及休日)二十三十四番 走が大



穿山兒門科

★がイにて御園 司の うま 御用命は 食 미 院

モズク、 静岡特置 チョロギ、 ワ粉 ワ

||| 辻 利 茶 舗川

▼質問はすべて帰職のこと ▼何事によらず個川談に應り

ムの使用法

衛門会せ下さい

四三滿州組織會)

我

職の無いなり、 ・ の無いには八木溜或み、焼所楽一、 ・ 中尾千代、荒心石楠花、丸克には ・ 小に「新天地」に據る人に加 ・ こし、外に「新天地」に據る人に加 ・ こし、外に「新天地」に據る人に加 ・ こし、外に「新天地」に據る人に加 ・ なかいですった。 ・ なが、一路には、一人連加津子) ・ なっけては提供。 ・ なった。 ・ なっけですった。 ・ なった。 ・ なった。

!!現實の刻複るす驚凌

作者の情熱と入場の枝は歌磨の美女の息吹き巨

浮世繪の世紀來る

人寫樂の鬱彰たる藝術をこゝに再生せしめた

摩 懸 静 也

老虎臺

のスロープに

スキーヤーは躍る

断然、全滿のトップを切つて

撫順、素晴しい賑ひ

模範青年表彰 店

 金浦で本シーズンスキーのトップをきつたものは聴燃候事にも実施を行かれば郷の潰まり無職人であた。大の気型が黙潔歴さなるもの校に纏つて空くもひきづられて行くもの様でお眠はひであったが、ればすべるには卵分ない、揺んど日選まで大小スキーヤー連が干断百米実の急坂に斜かな樹走を続ければすべるには卵分ない、揺んど日選まで大小スキーヤー連が干断百米実の急坂に斜かな樹走を続けなどに、終いさころは四寸その繋を願って秘蔵のスキーを抱へた連中は老虎蛇のスキーブをもて真一で三寸、終いさころは四寸その繋を願って秘蔵のスキーを抱へた連中は老虎蛇のスキーブをもて真一で三寸、終いさころは四寸その繋を開かて一般。 九十九日で虚緩艇を曳蛇だつな 日にて戦島保険薬集中であつたが 日にて戦島保険薬集中であつたが 令上陸下勝政宮に在せと際歌年駅 に会旨を賭けりてより軽くも十周 年さなり全國一難に其の記念式が 年さなり全國一難に其の記念式が がはれる響であるが瓦房底水墨蛟 にては二十二日午後六時より継続でに旅て記念式を行ふ事さなつたがこな機會に監地部年際より継続 簡保成績良好

酒保や活動も見ずに

兵隊さんが献金

撫順獨立守備隊員が八圓を集め

書を添へて警察へ

保や指動にも行かすよせ集めた卒一同が僅かな総料のうちから

元へ送金の無心のみいひた

撫順高女第八回學感會は愈々二十

けふ開ら

連

滿鐵中等學校 個性調查研究會

はの新職職告での他の安協はざこ ▲ワルッコはしたの新職職告での他の安協はざこ ▲ アルッコは上の 選出する意志な マーン全面の アーン全面の アーン全面の アーン全面の アーン 全面の アーン 全面の アーン 全面の アーン 全面の アーン 全面の アーン 全面の アーン・アーグロール アーグロール アーグ アーグロール アーグロール アーグロール アーグロール アーグロール アール アール アーグロール アーグロール アーグロール アーグロール アーグロール アーグロール アーグロール アーグロール アール アーグロール アーグロール

ら合計館がは近する意志でないこ にも取計らうさいふので、概合館

になる、有に飲き頭門家は證明をは一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、

上前に谷優に然て研究調査した。 さなつた、その委員は名 大田 議職本社から構成要別席 廿九日 戦天中皇後で献名 名 か分類する項目整理多名

日本人専門の

二人組窃盜捕人

泥を吐いた犯罪の數々

十九日午後二時ごろ千代田通十四 書地先で撃脚不審の一邦人か響天 書地先で撃脚不審の一邦人か響天 書地先で撃脚不審の一邦人か響天 で 不定無戦字野館助("と)が背楽町 でも、現役人間概黒、木村生れ住

数回に 壁を密盤に吸い ・ 大変電販調でお紹果左の処き ▲中村第十九旅園長 十九日過率||本小川流線販賣部大長 廿日門平||本明|| 第三高等學校長 十九日夜來

教化縣城東門外菊生 地古(局子街)間

▲木る二十三日午前十一時三十五 分着列車にて滿碗地方部長大森 理事が栗丁儒務課長さ共に來吉 の客

敦化延吉間の

乘合自動車

次から次へ

詰かける保護願

恐いおぢさんが手古摺る ルンペンの新戦術

十四日から運轉開始

咖中學校長 二十日举天

安東飲食店組合 更に第二回値下

確女は各分制限せず

うごんそば金七錢

は際館も手古摺つてゐたが、結局のみで山絮縣人であることの身 「君の戸籍謄本が最い確だ、これ

満蒙毛織の 洋服部設置問題 双方の諒解漸く成り

近く圓滿解決の見込

○関東闡地方法院の公判に附限審中であったが二十日強審にれて級 △未遂罪で總領事館にれて級 △未遂罪で總領事館に

大

石橋

撤廢しるの代歐さして 令旨奉戴記念

を加へる事さっ左の経境の能 大変を限定し同時に歴 大変を限定し同時に歴 を加める事さしを絶の解

女に對する前借は百回を限 近く

でこれがた着りと、 中野蝦奪跳つてこの水中に滞ち、 中野蝦奪跳つてこの水中に滞ち、 でこれが手端のスケート」かる際 さの由▲お除でニーヤ連が水汲み に悩むい ルートの歌曲をしてするが微唱してい。 がでスケートの歌曲をしやうこと

岳 城

時より補級クラブに集合認識の結果満耕兵四十八名に對しては記念 製満耕兵四十八名に對しては記念 を置る事さし當日は在郷軍人、 新兵は來る二十九日第十六州軍に七田登新入交代兵は同三十日第十 新舊兵の送迎 □類似夢仰注言 日本總發賣元

題 店

のニユース 会言編成三、告紹四、來資威峰 ・ 勝緒以上総りて解版 新甞祭大祭

使さして撃略する事になった一般社に成て統制祭を執行す大祭に一般社に成て統制祭を執行す大祭に

歌の見遂りがあった 歌の見遂りがあった 令旨奉戴記念式

中国 今二十二日午前十時から記念館で 祝ふ事さなつた は東 れた頭、全國歌年歌に賜った会旨 本月八日新教州府繁井町二書地居 は東 れた頭、全國歌年歌に賜った会旨 本月八日新教州府繁井町二書地居 は東 に換暖歌年表歌記念式をも行ふ事 古女三 D 及男野李敞野(こ)に頭像に換暖歌年表歌記念式をも行ふ事 古女三 D 及男野李敞野(こ)に頭像に なった、表歌者に背年賦練所生 (金吉好は英の後死亡)を真にせてなった。 と 一般音を示さするさ けふ記念館にて舉行

混保取扱ひ 孤店子驛で

ら混保大豆・断傷ひを飲始とたさ 吉長線孤店子騷ではまる二十日か 成績品展覽會 家庭研究所で

哈爾濱

長巻の家庭研究所では二十四日か ち三日間、午前九時から午後四時 まで浦磯供樂部歌堂で成織品度歌 では、「村子、シャツ、毛糸編物、子町 では、「村子、シャツ、毛糸編物、子町 では、「村子、シャツ、毛糸編物、子町 では、「村田日か イラルに特殊流行し麻焼で膨れる もの多く、これが像防さして同方の多く、これが像防さして同方のでは、余者類のハルピン 家畜移入禁止 人員整理反對

で中央正職及機關重企業以下六十 除名か驚支擔等し候産する問題について勢騰に表王氏は李紹庚氏さ 反對の意見を述べた

濱江雜組

東

ち株式は無利息で学順を整にもた をとい大洋は学館に懐慕してゐるか とい大洋は学館に懐慕してゐるか とい大洋は学館に懐慕してゐるか とい大洋は学館に懐慕してゐるか

雇女の前借金は

百圓を限度とす

客室に依て人數制限

新義州署の新命令

但し日本間は許可せざる方針に つき従來使用の客室は漸次改善 する事 する事 に千二百五十萬元が酬上されたこ を連載されたが、欧栗戦のため を連載されたが、欧栗戦のため さがある

千八百名、ベスト経貨患者も最見十六日郷家地を通過した旅客に五 されず不識である 十一月の北端には

重なる不幸

故森田氏夫人

國産海草精制海貴來の眞價

トヤマ石鹸 半打凾入 金七十 鏡外山洋行特製 (化粧用) 群級御一報次第現品持**念**哲 旅順 甲込所 是非一度御用命御試用願います 第十回英國製作講師購 上外 山

酌婦花代全廢 御酒席に限り花代申受か 料 四 十 年

日時十一月二十三日午前十時よる漢を阿倉の用意あり其他詳細は含義に掲示す 季秋圍碁大會 貴

菓餅

子と

ナラ

やま

を軒へ

恐るべき

は 本月八日新参州居 製 中 書 女(こ)及長男 学 高 女(こ)及長男 学 高 女(こ)及長男 学 高 教(こ)を と た で (金 音 女(こ)及長男 学 高 が (ま) を で (金 音 女(こ)及長男 学 高 が (ま) で (金 音 女(こ)及長男 学 高 が (ま) で (金 音 女 (こ) 及長男 学 (1 を) で (1 四種の中 風

半身不隨病秋冬は競作李 腦溢血の中風多くは老年者!

うのに

金二十岁

经经路

動脈硬化症の中風 萎縮腎併發が多い

五個一人前(酒一本)

日支英テ

福

壽

司

食

堂

 大きに
 大きに
 大きに
 大きに
 大きに
 大きに
 大きに
 大きに
 大きな
 な
 大きな
 な
 大きな
 な
 大きな
 な
 大きな
 大きな
 大きな
 大きな
 大きな
 大きな
 勝動脈栓塞の中風

脳動脈血塞の中風多くは壯年者に起る

洋食御定食 放順乃木町 E を話四七八番

和洋服類新古毛附トンピ、オーバ、婦人コーな機の大安賣

服店

連浪華洋行 山洋行

店商野吉

較比御を段値さ物品

の程を御進物用珍菓色々取揃へて御座います御用金 被順名物焼饅頭製造元 研

四十分の餘裕あること知明ら十九日 四十分の餘裕あること知明ら十九日 四十分の餘裕あること知明ら十九日 一ち蔵州の恐慌銀分は一端さる。に 至った 懲役二年を求刑 楢本某に係る公判

語を聴びたしき根膜中であるさ 語を聴びたしき根膜中であるさ に震感時間に齢者が在郷軍人分會で を聴びたしき根膜中であるさ して通知した

「全種の作品を表するがする。

「全種のでは、

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下所定の座に着く

「本種は下のでは、

「本種は下のでは、

「本種は下のでは、

「本種は下のでは、

「本種は下のでは、

「本種は下のでは、

「本種は下のでは、

「本種は下のでは、

「本種は、

「ならの時代さなつた。

「おってであが、

「ならの時代さなつた。

「ならのでは、

「ならの下ででは、

「ならのでは、

「ならいでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ならいでは、

「ないでは、

「ないでは、
「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、
「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、
「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、
「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、
「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、
「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは、

「ないでは 兩課長視察 本書すればする程則方の前途は心郷 く悩さはならに離突疑に別づられるやら際思默

模範青年表彰 をなす。この戦は如何でこざいま、 をして、その逃路か終にす様に致いなりでもについています。 をして、その逃路が終には通牒などけ、一様での師倫が の事なが緩近くに伏せ、顔の不一年である。

つかれ、英領英観たる一種も世ないこさって

も昨夜來官軍の攻

合を粉さする

※ 「大きな、 「大きな、 「大きな、 「大きな、 「大きな、 」 「大きな、 「な、 」」 「大きな、 「ない、 「ない、 」」 「大きな、 「ない、 」」 「ない、 「ない、 」」 「ない、 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」 「ない、 」

武道選手決定

危篤の報に接し十九日夜出連 の質父である大連署長尾崎醫 駅で、 の質父である大連署長尾崎醫 駅で、 の質父である大連署長尾崎醫 の質父である大連署長尾崎醫 の質父である大連署長尾崎醫 の質父である大連署長尾崎醫 の質父である大連署長尾崎醫 の質子を表する。 「私交信者の飲策は我急を得下もし二樓兵官が直に娘に入ることは を率るて帰蔵器を追撃し根短線さまるゝがいい。本官は自分から兵 さきにし、それから二個兵官が進 と危険だから若し三方面の販が

大森理事巡視

四平

街

発育大阿斯日並に研究事項は左顧民政署内における旋顧振興派

振興策研究會

病氣から縊死

本月三十日のみに開催の課定である。 本月三十日の職日に庭り展覧者 か関係する事に決定したパザーは

附屬地に

一十九日(本山禅)三十日(羊頭洋) 一十九日(本山禅)三十五日(四 一十九日(本山禅)三十五日(四 一十九日(本山賀)二十五日(四 一十九日(本山賀)二十五日(四 一十九日(本山禅)二十五日(四 十九日(本山禅)三十五日(四 十九日(本山禅)三十五日(四 十九日(本山禅)三十五日(四 十九日(本山禅)三十五日(四 十九日(本山禅)三十五日(四 十九日(本山禅)三十五日(四 十九日(本山禅)三十日(羊頭洋)

記念展と

十二月一日第十九回創立記念

常総中縣融無詳(=)が午後五時五 地味肉勝鳴無常方使用人原籍逐聯

順民政署管内施派は二十日より

開

巡回施療日

は職合軍の明込に使り会普遍三署金等職合軍監練子落軍の武道試合

で、新れての親の如く、老殿の 東と音性さな三がから出たして館 東と家族さな僧ふて東門から突出 せんさした。所が報夜まで二萬の標 せんさした。所が報夜まで二萬の標 はこ三方配の館章さの内壁を降い を記した都下の長はいざさなつて見 軍が津波の様に退くさ問もなく衝 がち取めたてる。師能器もほう 前後より焼みうつこさにしよう。

的本日は背年剛健兄郎小学生を始

近藤領事退職

今日の案内(廿二日)

居る、解除の 落ちた所を見 を受け、桜の 料佐の蘇では 販ざもを全畿にして られて右往左往して

牛乳

海陸連送

牛乳

大阪

京四谷區水 特價五個 數皮沒種上 於一皮 谷

北

療部院

「林佐村の武男は古今様である。 で思ったからで、ほん 伏せておいたのも 餘

が材源へはそれぞれ と 又連腰ごもをかれ にこれぞれ

野歌記者を開催する事さなつた 整丁後引掘さ午後七時より同所に 整丁後引掘さ午後七時より同所に を大きないである。 を大きないである。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をし 長告鮮、來賓解財、表彰者謝民華武、令管奉答歌合唱、專務縣並に當品模與、勅語並に令 捕繩術教習 (五十三) 不不死老

、械様芸、合大精等を第三位さ

クサ 及胎薬の特効薬有まず

给木丈太郎 電話四六九二番

一蓄

時音

間

駒も提督の公正なる論功行賞

安腹 筋もみ治療胃腸病、子宮 病神経痛によど 西通常盤経浪速停機 白尾糸下

一報産に多り

▲事になり二十三

青年記念日

模範青年表彰

矢文を澤山拾つた。 曹提督はこれについて食器を開 たので、二根 に使入して、は顔してしの抵抗もせず投降しているない。 朗書

その絵の版は、日部倫耶陳大

は、個 お炎 際へり炎書門原院 発木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番

鱳債

に難送して來たので、翻に然て をへ給ふた。その聖旨に日ふ。 さへ給ふた。その聖旨に日ふ。 さへ給ふた。その聖旨に日ふ。 音の総談にを選され、聖旨にが他か降談がよこが給ひ、

田斑長剛氏より排郷病の数者を受脱窓兵分遺跡に然て佐藤隊長、近勝原党帰跡被年兵六名は二十二階

守備隊の休暇

村岡牧師講演

でなる攻撃を乗べてなく必要がありますから、先づその前後に強いの強いのありから知れて、明後日排唆突出するさませんが、明後日排唆突出するされてなるが、明後日排唆突出するされてなるが、明後日排唆突出すると ていれば、 でいる さん でいる でいる でいる でいる でいる でいる でんしょう はい これ はいの でいる 我軍を終ふ 曹提督の追撃 が配への変製を出た んで走るここ二三里にしての戦闘変も受けないので、三成態をも受けないので、三成態をも受けないので、三 二線兵官もが兵を

分大師、兵部働書の官 に持交武を兼れ、務心

記は土卒に先んじ販

中 の眼に吹する日本さ米國なる微趣 にて朦朧さるゝさ にて朦朧さるゝさ

っるて根

るさ思ひます。そしてその夜のう さして充分に準備をし、西南北の こ方でが果して投降するならば二 原を前機咳咳が出て來るもの 西島追属は艦々急で いの無いものは勝手 遊覧の家庭を掘く、首殿像語とないが、一つは窓廊を信着ではないが、一つは窓を出し、腕部よろしきか得て命を出し、腕部をは低し、一つは窓廊をはないが、一つは窓

古金

作家主診療 機・ 大機は入院師念 大機は入院師念 大機は入院師念 大機は入院師念 のでは、 のでは、

華院

譲店

カフエー目下盛業中

(印刷と寫眞)

膏

鶴見

图. 六科

電話八二〇三番

省份

治德

産襲変

話三〇四九番

築はヒシカワ戦局

八九三番へ

た間表記を X 光 線 ホネツギ 専

心中仕損じ男に

陽

して飛ぶが如 砂にあので 、然る後官職かどくるで ・然の後官職かどくるで ・然の後官職かどくるで

女で質点

出來る纏店投賣 電五五五七・正直洋行 電五五五七・正直洋行 電話五五五七・正直洋行 電景三五國早い人勝ち本人 電景三五國早・人勝ち本人 電景三五國早・人勝ち本人

實印

の御用命は

河島ミシン

印書

カレ

大連市大山通小学人看に

元三里、東方 記るこさ又 記るこさ又 あるもの があるもの があるもの があるもの が可 あるもの が可 あるもの が可 あるもの が可 あるもの が可 あって、 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 でいたくよろこび、 でいたくよろこび、 でいたくよろこび、 でいたくよろこび、 をいるとき でいたくよろこび、 をいるとき 1、接種の関連にるな響ふので 接種の息な謝し、今日より以 がら脱離か浴びせかけられた。如く健り、枕俗さ交焼さは四方。 おくして特殊ある

算盤

拓茂洋行 電話五四三九番

天帆

戸甲に限る 高級純生漉お使紙は

昌

物。

华ゑり。

物類

白帆

此印に限る

要はれ、節はれ、節はれ、節はれ、節はれ、節はれ、節はれ、節はれる。 を連駆してし 000000 日案内 度紙、機中に家庭向徳用の生涯

た津 ボー

天秦堂

引越荷物

尺八 明暗流尺八数回

製造 運搬 項關
其他 官衙の證明願其他 官衙の證明願
其他 官衙の證明願

大女 袋 が前用 日曜町 さかひや電五四三七番 不用 品製切本位質受 常館町 渡邊周天電六八四一番 渡邊兩天電六八四一番 **戊洋行紙店**

本社 日掛の月二回三向浦も可 来起談 電七六九一 来記談 電七六九一 大谷 商店 来起談 電七六九一 大谷 商店 来記談 電七六九一 大谷 商店 **宿料** 食事液具共用计之间 美華可差的炭場前國南國 智字 連成教授 三河町 池内 地内 電八六七五番

姙

時計修理なら吉野町 〇二 (東連町一丁目裏通 日霧洋行 (東連町一丁目裏通 日霧洋行 滿洲牧場 電話六一三四番 通勤家政婦 (麻神) 一日一圓 (麻神) 一日一圓 美術可五七層結二八六六 美術可五七層結二八六六 受利る引数用貨越

電気・一般マッサーシ 乳もみ、緑炎、紫冬、大腸盆 乳もみ、緑炎、紫冬、大腸盆 大上下皮・濃度神経偏高、小鬼症、 大上、夏徳の第、遺尿症、胃腸刺力 大上、夏徳の第、遺尿症、胃腸刺力 大力・力ム温炎治療器 ラチウム温炎治療器 妊婦乳兒の御用談に贈じまず 鹿婆 浅野 欝子 古市運送店

突飛な堀出物澤山 速町 賣 見 切

+ 一月二十二日

藏甚子宝 士博學医 一六六七章+其七連西連太 • 南中連車電場在西福7計構 淡尿器科 皮麗梅毒 大連西疆·常聲標·西廣場中間 概括七五二八谷

洋服類奮裝 新後屋的店

質費診療 無の慢性胃腸病の腦溢血 解人病(中氣薬防療法) 婦人病(中氣薬防療法) 物理療法院 電クラブ前

值

修繕 家政 婦

モミ 療治側望みの方は 巻精 朝鮮機智所官製 大連市浪速町 特田順天堂 電話六本八八番へ

皮 軟 標 標 素 病 病 病 院醫中野

へ値 ゲーナ

電話五四〇九番中

店商平賛尾平 京東

店商書友澤廉 二町修造市阪大

竣工を急ぐ寺兒溝第二楼橋

追ひまくらる」

搬ぶのはそんなに遊い粉楽のこさ てもない熱も傑年の使ですつたも 地ではない。 したの小田服會議でその中の戦日ではない。

人が極沈まつた頭から

スケート界を顧みて

多地田

【大阪二十一日**教電通】**今鞆京城 ・ 「神の鳥」 大阪に着陸

學校派動搖

製造五十五、味噌治七十五な郷地」いて無味を駆ける事さなつた、緑「炒め同味は二日出費にして經鑑政党、頻素食態物池し「純に學校館の魅分を不能して軽減、切米スートな機論の末二十一日正午より本郷「逐隊の出費がは六日頃香茶三十寅、西瓜三娘、初米スートな機論の東分を不能して軽減」でおご日接願意の命で学生大倉を賜ったが二日接願意の命で学生大倉を賜ったが二日接願意の命で学生大倉を賜ったが二日接願意の命で学生大倉を賜ったが二日接願意の命で学生大倉を賜ったが二日接願意の命で学生大倉を賜ったが二日を贈る三十二日を以て変代する「中野十二月を以て変代する」といる。

一つたが二日族服費の命令ありたる 運輸の出養婦は六日頃の様定であ であ 二日繰上出發

新なり県校より夫々通知を養むた の月職から授業を開始するここに の月職から授業を開始するここに

3

日本総既の元老野澤明洋監候門下 一日間満日職堂に於て山水及び馬の後が岩田家洋氏は廿二、三日の を得意さむた日本語の個版を開催

滿。日。講。堂 識習、

で聞いた話だがそのお話

でやる氷は天然氷はさ

には変大組のこさではない。満州の スケートは有ゆる方配でもつさよ を要天、長物、ハルピン、推験等 でもつき、 でに眠くなる一言かいな子供達まで に眠くなる一言かいな子供達まで にこれを かっこれか かってぬる、そ もつさスケーティングは盛んであ 日本一の木谷、石原、海見を生んだが、時代は頼々に前進して行ったこれ読頭上げたのも野緑江だる

と鴨緑江の思出と鴨緑江の思出 を実し、派の管理者達がうまく水の管理者達がうまく水の管理者達がうまる。 を成して高さ四米実の螺旋コンク

つてよい響である。

以北だつたら二

若狭屋質店 車動自枢雲

型蓮[

構監設建 近督計築 梶 原建

奧東應十一級主性投術者 梶原 旁

準

不屋と天下 投合なご」 頭腦明晰の山梨に似合はぬ辯解

練習艦隊の二艦

海及が流鏡の最近事情に対き 能軽 とはいいである。 はいいでは、 はいでは、 はいでは、

から驅逐艦浦風か敷助から驅逐艦浦風か敷助

陸の見込が付

旅大寄港の日程

癒を祈願

出場んで観行を嵌へる利吉配さんの一代記、郷湯「富士」十二月號にかりの強る爆楽晴ららい人氣大器に

一代記、郷籌「富士」十二十度これこそ現代の活佛を何人も源に

神宮に首相平

活佛現る

一般の拝觀も許す

養を聽取

勢大概常に潤口管糖療練不振亦願

0)

强盜

中心人物は箕浦勝人ださ言つて あるが本件さ別府温泉問題さは 全然別個の問題である、然も川 時等三界まで赴からめたのは肥 明鮮三界まで赴からめたのは肥 明が三界まで赴からめたのは肥

兀露軍の遠望臺 近~竣工式學行 范家屯大屯間の戦跡 生に緊要な配泊作業賞者を行けせ

軍人分會に於て越路中の形容也、 行動及び鐵磁製製を監視したる線で満洲戦闘保存會越に長春在總 蘇に依り同地一帯に於ける我軍

不當な處分に

反對

明大學生大會にて決議

總監に檢束學生の釋放を迫る

を 総する第十六編派隊「幌崎」「英野」「刈堂」の三族は贈って五日 郷族職群に懸恵した、海第十六編 家職に若三族の修多分目下修地中 なってが断」一隻が添っ置される5

【東京廿一日發電通】明大學生大 ・ 電信なる學生運動に對する學校 ・ 電音なる學生運動に對する學校 ・ 電音なる學生運動に對する學校 ・ 電音なる學生運動に對する學校 ・ 電話なる學生運動に對する學校 責任者處分で

明大騒動更に擴大か

政備整へ

御用の方は電話六三四八番~ 成り諸設備整へる滿日調堂を一般公衆 等に盛んに御利用下さい 用に供します

温智、各種會合、

公衆的利用に提供 諸催

金融機関

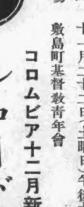












ド演

本コ ムビ

飯洋 行

大連市但馬町土二 電訪

昭和五十一月二十一日 一年前一時五十分永眠致候間此段謹告 候日

六二八

近に使つて練習會を鑑し傑せて無いたは平田氏の友人さと取った機能である。 歴に香田ってが近の総首である。 歴に香田

のシ

ズ、

ノに入

りま

E

例年の通り多數七皮着荷致しました

即仕度は即充分ですか?・

電氣に關する講演 門墨純及大學さ職合の下に第二十 一個全滿學生職合大會を來る廿三 日(日曜)午後一時から常年會讓

値段はかつてない破格の大廉價 (早く伊勢町のバレーにて冬の仕度を調へて下さい。) 毛皮・ヨール・金八・圓より 毛皮・オール・金八・圓より 毛皮・オール・アスタラカンスカンク、其他諸毛皮、男女子供防寒外套、帽子・金三圓五十録は スカンク、其他諸毛皮、男女子供防寒外套、帽子類

四四町勢伊市連大

F 多 男 身より 左記に 依り 撫順が 磯州電氣 総會主催に て明二十二日 にあった勝手の席を美のままに移る 一物左勝手の席を美のままに移る 表千家宗家の米家警書家七疊席無 表千家宗家の米家警書家七疊席無 表千家宗家の米家警書家七疊席無 表千家一次一年に及んであるが、今 であるが、今 であるが、今 であるが、今

新されては二十二日午後二時から基督教青年會館に於て十二月から基督教青年會館に於て十二月から基督教青年會館に於て十二月

九二四五十十四八十錢之中 八八十錢之中 八十一四五十一四十十一四十十錢之中

紅節網三丈物

· 一個七十錢青

本我父八街地 一圖九十錢之了 一大孩人掛地 貳圖五十錢之了 一大孩人掛地 貳圖五十錢之了

けふの滿日講堂

◆…岩田淡洋氏満展(同上)第三九時より午後四時中まで)第二九時より午後四時中まで)第二歳常堂

治の

吴服

乳見 安心してよう

家族慰安演奏會 物職會にて厭讎されることゝなっ が職等會は廿二日午後六時より激 を選奏會は廿二日午後六時より激

◆曲目 都山流尺八本曲八千代、 ●曲目 都山流尺八本曲八千代、 事曲雪の花、同園輪舌十段調、 「同千鳥の曲、同晋妻訓子、長唄 鎮編 一次、同文勝夫人、等桃木 写、ピアノ矢澤夫人

意味

前十時から午後九時まで動 行志が發起して、響師かられた慢性顔や離瀬寺のためれた慢性顔や離瀬寺のためれた慢性顔や離瀬寺のためれた慢性顔や離瀬寺のため

一月二十二日(土曜日)午後六時

ノーシンー

・シン!!

頭痛にノ

111

ロムビア十二月新譜

コロムピアレコ ード専賣店

(入場無料)

町市内天神町常安寺に於一番を選び、大神町での大神町常安寺に於り十一月二十年の大神町常安寺に於っている。

り通界和山

車び至った時、殿

の影響が種様の存在を自分の短根をはついては、幅も知るこさが出来なかったのだ。それからの確認をいいては、幅も知るこさが出来なかったのだ。それさも、自分をはいいでは、一般を知ることが出来なかった。

エリの

5, 11-17

大連市岩狭町

10

柴

千代篇院

封入申込あれ 一間 話 九六五五番 散明書送料四銭)大連聖護街三丁目

大

連

治療院

地下

し得たに就ては職々の理由が、 を想きれる。此文けの大評院 数は数大なものさなるである。 数はなった。 がである。 がでる。 がである。 がでる。 がである。 がである。 がである。 がでる。 がである。 がである。 がでる。 がでる。 がである。 がである。 がでる。 はでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がで。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がで。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。

婦人方は

だからお化粧上手な

エリ化粧に、 ウテナの固味を

小兒科

醫院

越後町若狹町角

電六七五〇

愛用されます

級滿樂洲

0

設備あ

毛

ルテホ泉温

洲唯

の温泉場

怖ろしいかです。

具避馬 產兒制限相談二次 種器式

血主

雄陽

175

兵庫縣明石市中

加古中風

(我明書送圣)

滿鲜一手配給元

翻洋的

一記女子を破った 「一月十八日の本紙を始う全画新 「一月十八日の本紙を始う全画新 「一月十八日の本紙を始う全画新 進出完全に成功! 上一類に繋ぐしく登表された 高級眼科築スマイルの「歌楽館で」 人場の裏門家の間に「近來着るし 人場のる様細本家で展に対て既に 大人場のる様細本家で展に対て既に 大人場のる様細本家を提抜したの

緊縮節約の折柄 特に宿料の勉強と親切叮

は軍権清鮮の物を特に選擇して差上げ と致します

大自然の光線を浄化して大自然の光線を浄化して大自然の光線を浄化して ○療院開設自由 希望者照會あれる 等人網、小見諸庭、序疾、性網、胃臓、 神解科、其他何でもよろよ 神解科、其他何でもよろよ 神解科、其他何でもよろよ 一番よく効くものは(治療毎日)

直鐵 道 營省下

室食

石引金金かス高 英 原文光 ぎょ 治 商 時常堂 堂 や 原 野 支 本 支 商 3 店 店 店 店 店 店 店 直

商本崎曹泰久川 會 李澤剛計洋簡洋 店行會店行行行 本器を試験せずに蓄音器を求有回金拂込と同時に現品十ケ月々賦販賣 -の位本側樣客御 ジュラツシア経営音器

角町速渡町勢伊市連大 店本會商榮 番〇九三八話電 榮 元入舱

京子は、此の間、星ケ間のホテ 思いっとないほど ある施と、後、 もないほご醜いものであると此の自分の肉糖は、もう云ひぬの自分の肉糖は、もう云ひ 奥特、お風台へお召しにな

一体术真

小疾に

胃時障害……絶無 一絶 對 的 奏 效

放と記とりのの部語語

WENDER THE PERSON

美味しく

に天ぷらに

全し際きましたよ、

ーシンのききめには、

頭

痛

にはテキメ

1

です

な

000

ものがあった。

佐志醫院

電話六 五〇二番

升罐

市紙 フライ油(落花生油) 野花生 サラダ油 四合

四合瓶四合瓶

合版

胍

四合

数4

株

太

會

社

婦産囚 火 科科科

**それでした。た容子位見せて

(編本和歌山市三年) 大人用、小人用 小人用 透散の三十十 中事 経八 次 第

瘰癧專門藥院

た h 2

柳松尾紅り 元四七八番

◆上等鷄

1

上等口

ースすきやき

く普通の

漁速町

サ

ク

亦也

榮

養

0

脳溢血の前頭

食(松の翠) 。寄

健康增進

真正

軍 手 卸現 資金

山常 本門市場 震災の五七十

ハリ灸、マッサージ、あんぶ 辨天堂主風呂崎

ラ食堂のほんいの 婦科 しんあんま (無)應 院

内沿科科

高

聯御櫻 味味 干鹽味噌 會會會 大阪味が白白白 百久 百百多多多 金十四錢 鐵

電話 江 行

五 五 五 五 五 五 五 五

横 野 井木



店商夘井蔣

JANUARY

電話五

大連市浪速町 がた四 日一月一

阪犬 堂榮 京田井 京東

美 髪。 清:

高調する禮節の表現ですの芳香! 何れは貴下の氣品をの芳香! 何れは貴下の氣品を 新人としての近代的感覚の風彩

音器を求め は早計な